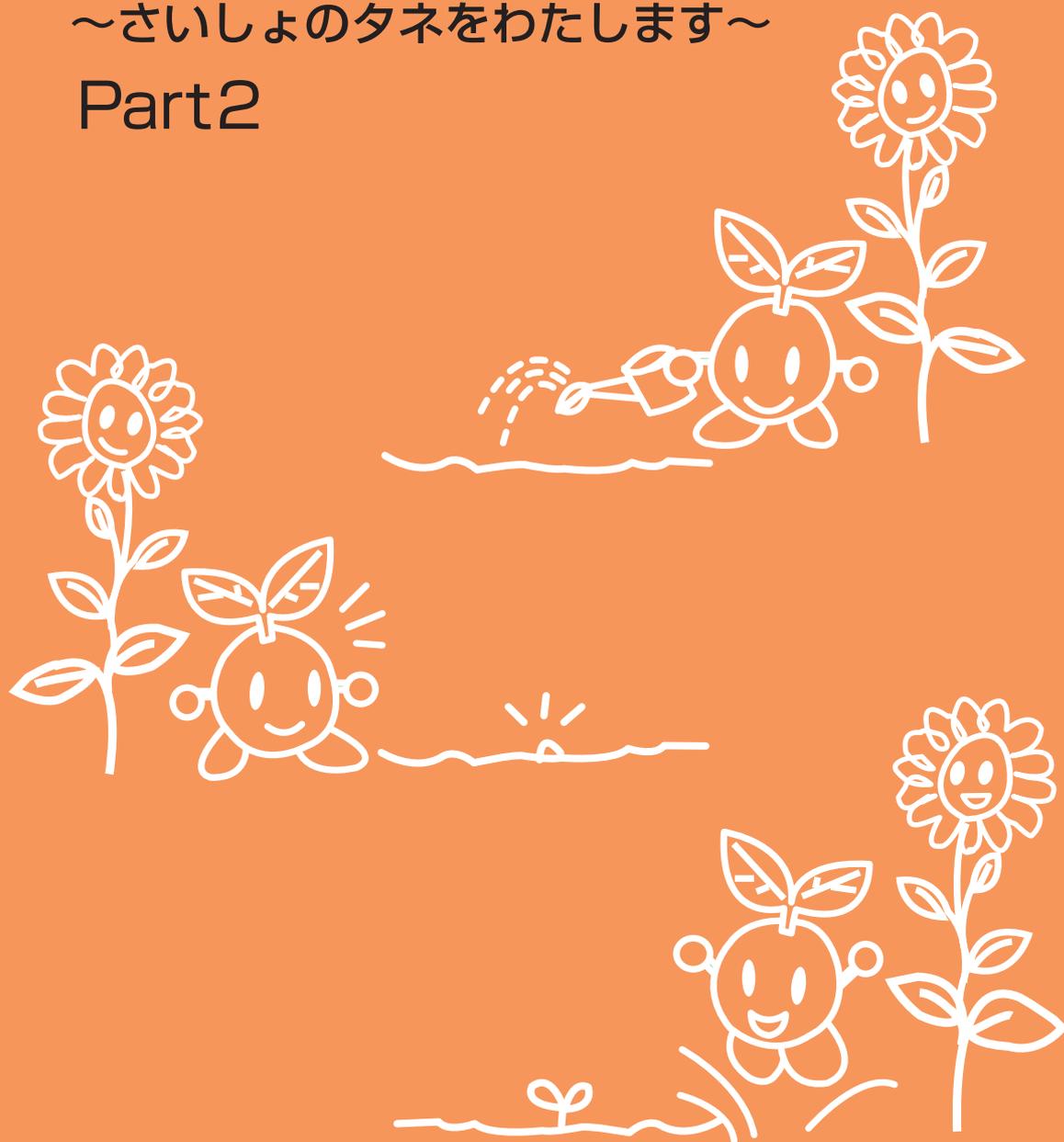


みんなで作る

人権学習

～さいしょのタネをわたします～

Part2



高知県教育委員会

はじめに

「人権や人権問題にかかわる研修会をもっと充実し、多くの人に『来てよかった』と言ってもらえるようにすることができないか？そのためにどんな学習教材やプログラムが必要だろうか？」そのような思いから、昨年度「人権学習研修マニュアル作成委員会」を組織し、「みんなでつくる人権学習～さいしょのタネをわたします～」を作成しました。そして、その冊子をこの一年間さまざまな場所で活用していただき、多くのご意見やエピソードを返していただきました。

このような取り組みを継承し、さらにバージョンアップするために、このたび、「みんなでつくる人権学習～さいしょのタネをわたします～Part 2」を作成しました。

この本の作成にあたっては、次のことをめざしました。

- 地域の人権学習担当者が、自分たちでやってみようと思うものをつくろう！
- 地域の人を知りたいと思うような、また、高知県ならではの身近な内容や話題（話のタネ）を提供しよう！
- 参加者が自分のエピソードを交えながら話し合うことをとおして、共感し、さまざまな人権課題に気づいてもらえるようにしよう！
- 人権学習担当者も参加者も、元気が出るもの、「人権って大切」「おもしろい」と思ってもらえるものをつくろう！
- 人権課題解決に向けて行動する仲間をもっと増やしていこう！

今回は、県民に身近な人権課題のなかで「障害者の人権」「外国人の人権」についての「さいしょのタネ」をおわたしします。

各市町村で人権学習に取り組む担当者みなさんに、この本を利用して人権学習にトライしていただければと思います。

みなさんがこの本を使って研修をされたとき、さまざまな感想をもたれると思います。そういった感想や改善すべき点をぜひ教えてください。それをもとに、さらに充実したものにしていきたいと思っています。

また、話し合いのなかで語られたその地域ならではのエピソードを集めていくことで、今後、みなさんとともに「高知ならではの」学習教材を開発することができればと考えています。

2005(平成17)年3月

この本の使い方

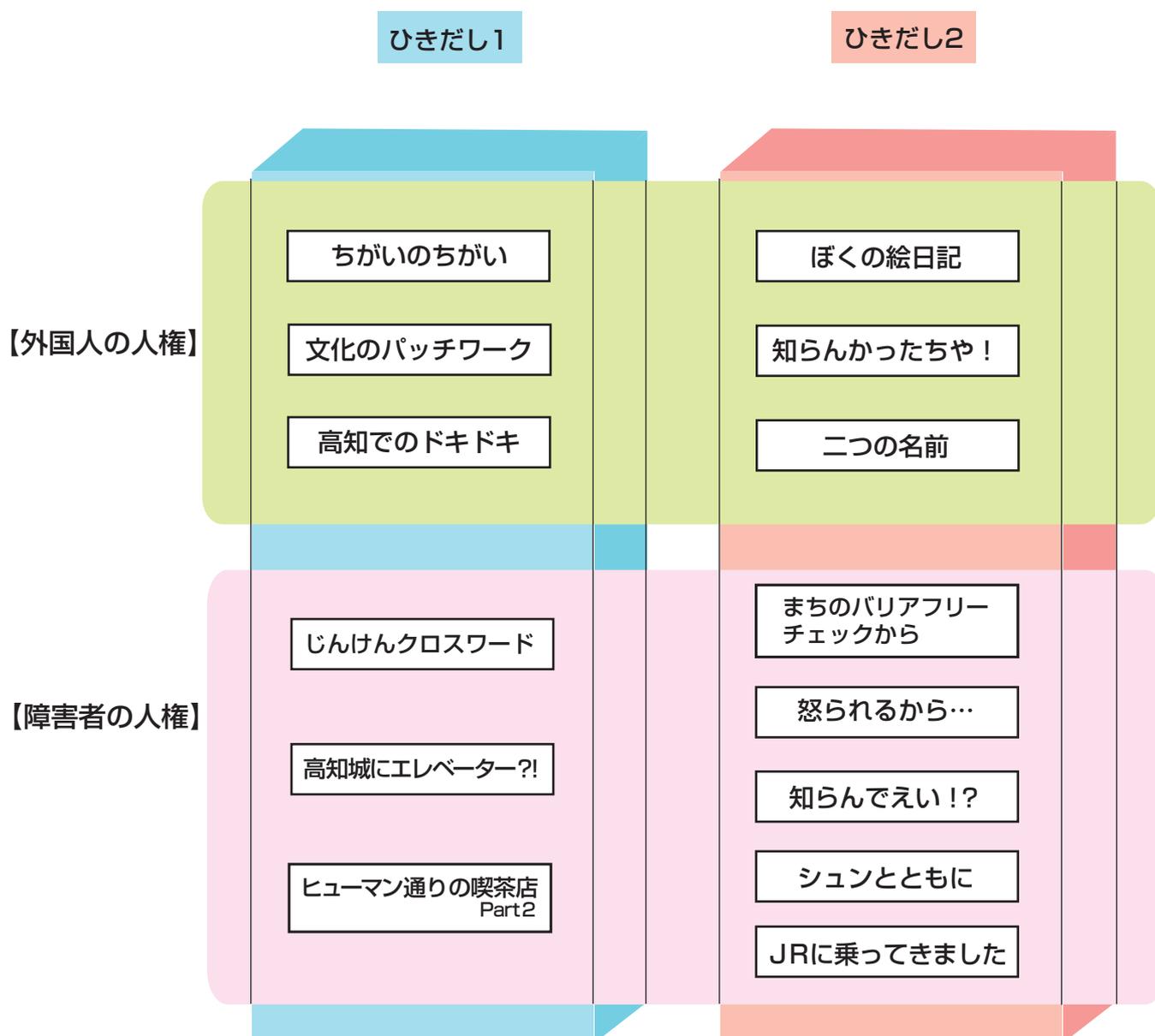
全部で14（障害者の人権8 外国人の人権6）の学習教材を用意しています。
学習教材は次のように分類しています。

ひきだし1

●教材ごとに示してある『すすめ方の例』にそってすすめることができます。

ひきだし2

●28ページの『すすめ方の例（基本形）』にそって、教材ごとに示してある『話し合いの視点』を交えながらすすめることができます。



それぞれの学習教材は独立しています。どこから始めてもかまいません。組み合わせることもできます。

例えば、

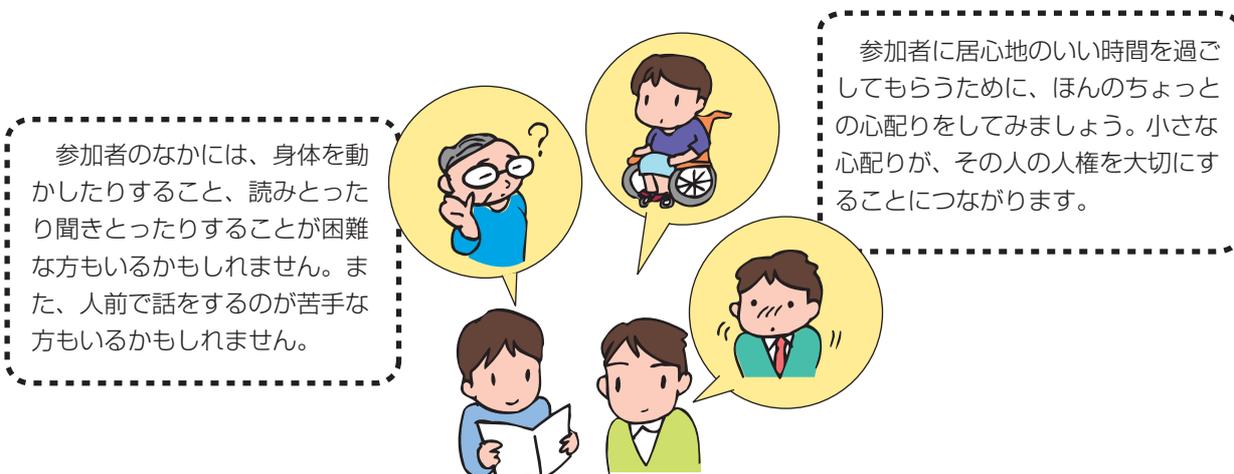
- ◆外国人の人権については初めてだから、『ちがいのちがい』をやってみよう。
- ◆参加者は学習経験者が多いから、『知らんでえい! ?』で深めてみよう。
- ◆時間に少し余裕があるから、『まちのバリアフリーチェックから』を使って話し合ったあと、『JRに乗ってきました』を使ってもう一度深めてみよう。

それぞれの学習教材では、はじめに「話のタネ」だけ載せています。まずはこれを見て、ねらいや伝えたいこと、すすめ方などを自分で考えてみてください。なお、「話のタネ」はそのままコピーして使えるようにしています。人権教育課ホームページからダウンロードすることもできます (<http://www.pref.kochi.jp/~jinkyou/>)。

次のページからは、この「話のタネ」で人権学習を行う際のねらい（「**Point** ポイント」）、展開例（「**すすめ方の例**」）、資料などを載せています。

それぞれの地域の実態や、参加者の人数・男女比・年齢構成などによって、「話のタネ」を提示する方法、時間配分などさまざまに工夫して活用していただければと思います。

なお、この本では、ウォーミングアップ手法は載せていません。「みんなでつくる人権学習～さいしょのタネをわたします～」(平成15年度)をご参照ください。



全体で「1時間30分～2時間の研修」をイメージしての大まかな流れです。

今日の「ねらい」をしっかりもちましょう！

参加者の意見は「十人十色」です！

「担当者としての『いろは』」を5ページにのせてありますので参考にしてください。

1 ウォーミングアップする時間を少しもうけましょう。 (10～30分程度)

2 この本に載せている「話のタネ」を提供して、参加者のみなさんに話し合ってもらいましょう。 (60～90分程度)

※【ひきだし1】(8～27ページ)は、学習教材ごとに話のタネ、**Point**ポイント、すすめ方の例、資料などを載せていますので参考にしてください。

※【ひきだし2】(30～61ページ)の学習教材は、話のタネ、**Point**ポイント、話し合いの視点、資料などという構成になっています。28ページにすすめ方の例(基本形)を載せていますので参考にしてください。

※話し合いのなかで参加者から出されるエピソードや意見を書きとめておく(メモ帳や黒板を利用するといいでしょう)、「3」のところで役立ちます。

3 話し合いで出てきたエピソードや意見、「Pointポイント」をおりませながら、担当者の感想を伝えましょう。 (10分程度)

参加者が「居心地がいい」ことが大切です！

助走です。その距離は参加者によって変えてみましょう！

話題提供のしかたは何通りもあります。工夫してみるのも楽しい！

担当するあなたも「参加者の一人」として感想を伝えましょう！

カンペキを求めなくてもいいし、無理にまとめようとしなくてもいいです。参加者一人一人の気づきを大切にしましょう！

担当者のみなさんへのお願い

★「話のタネ」を提供して参加者が話し合う内容をじっくり聴いてください。

★「話のタネ」から触発されて、地域ならではのエピソードなどが語られると思いますので、その内容を発言者の確認をとって、後日、高知県教育委員会事務局人権教育課まで送ってください。

★このプログラムを実施しての感想、うまくいった点やうまくいかなかった点などを送ってください。

送ってくださった内容を整理して、今後「高知ならではの話題集」をまとめたいと思います。ご協力をお願いします。

みなさんの意見を研修会やホームページで広めていきます。

担当者としての「いろは」

研修会は、人権についての「まじめな雑談」であると考えましょう。そのなかでこそ、参加者のさまざまなエピソードや本音が語られやすくなります。

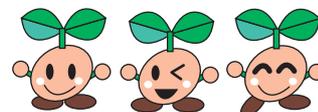
そのために…

- 参加者が「居心地のいい」雰囲気づくりを大切にしましょう。
- エピソードは「言える範囲」で語ってもらいましょう。参加者にとって、一つ一つが大切なエピソードですので心から聴くことが大事です。
- 担当者も一人の参加者としてやりとりを聴き、状況をみながら自分のエピソードや感想を入れていきましょう。参加者の意見が出やすくなります。
- 解決のポイントは参加者のなかにあると考えましょう。話し合いのなかで答えを見つけていきましょう。
- 人権を守ることにマイナスの意見が出ることを恐れないようにしましょう。出てきたときはまずはその意見を受け止め、全体に投げかけるなどして、できるだけ参加者からプラスの意見を引き出していくようにしましょう。
- 最後に自分の思いや願いを伝えようと肩に力を入れなくてもかまいません。参加者の発言を聴いての感想を交えて話しましょう。
- ねらいにせまるような話し合いや感想がなかった場合は、「私はこんなことも考えましたが…」「時間があればこんなことも話し合っていたいと思いました」など、感想のなかに入れていきましょう。
- 参加者のプライバシーについては十分配慮をしましょう。

人権問題を「教えよう」とするのではなく、「ともに考え、学び合おう」という姿勢が最も大切です。



もくじ



はじめに	1
この本の使い方	2
担当者としての「いろは」	5

話のタネ

【ひきだし1】

SEED 1	ちがいのちがい	8
SEED 2	文化のパッチワーク	11
SEED 3	高知でのドキドキ	14
SEED 4	じんけんクロスワード	18
SEED 5	高知城にエレベーター?!	20
SEED 6	ヒューマン通りの喫茶店 Part 2	24

【ひきだし2】

SEED 7	ぼくの絵日記	30
SEED 8	知らなかったちや!	34
SEED 9	二つの名前	38
SEED10	まちのバリアフリーチェックから	42
SEED11	怒られるから...	46
SEED12	知らんでえい!?	50
SEED13	シュンとともに	54
SEED14	JRに乗ってきました	58

ふりかえりシート	63
みなさんの力をお貸してください	65
あなたの地域からのエピソード提供	66
担当者のみなさんのご意見	67

話のタネ

【ひきだし1】

「外国人の人権」からひろげる話のタネ

SEED 1 ちがいのちがい

SEED 2 文化のパッチワーク

SEED 3 高知でのドキドキ

「障害者の人権」からひろげる話のタネ

SEED 4 じんけんクロスワード

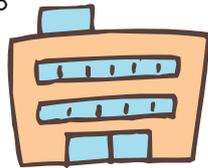
SEED 5 高知城にエレベーター?!

SEED 6 ヒューマン通りの喫茶店 Part 2



ちがいのちがい

次のカードを「あってもいい違い」と「あってはならない違い」に分けてください。もし、どうしても意見が一致しないカード、判断が難しいカードは「どちらともいえない」カードとしてください。

<p>① 欧米系の留学生がアパートを借りるとき、すぐに借りられたが、アジア系の留学生が借りようとしたときは、拒否された。</p>	<p>② 日本では夏バテを防ぐとしてうなぎを食べるが、韓国では犬の肉を煮込んだ補身湯（ポシントン）を食べる。</p> 
<p>③ ダニエルさんは本名で暮らしているが、金（キム）さんは通称名（日本名）で暮らしている。</p>	<p>④ 事件を起こした日本人のAさんは新聞に住所と名前が載ったが、外国人のBさんは国名も載った。</p>
<p>⑤ カルロス・ゴーンさんは民間企業の社長にはなれるが、高知県の公立中学校の校長にはなれない。</p> 	<p>⑥ ○○市の銭湯には「外国人お断り」というはり紙があるが、△△市の銭湯にはない。</p>
<p>⑦ 大阪府には外国人雇用サービスセンターがあるが、高知県にはない。</p> 	<p>⑧ イギリスで生活している日本人の北川さんは日本の選挙権があるが、日本で生まれ育った在日コリアンの朴（パク）さんには日本の選挙権がない。</p>

Point ポイント

カードをもとに自由に話し合い、考えてみましょう。新しい気づきや知識の獲得があるかもしれません。自由な雰囲気の中で、お互いの意見を尊重しながら話し合うことで、外国人の人権について理解を深めるきっかけになればと思います。

すすめ方の例

- 1 4～6人ごとのグループになり「話のタネ」をグループに1枚ずつ配ります。(カードの枚数や種類は時間設定に応じて考えましょう)
- 2 カードを切り離し、裏返して机の中央に並べます。
- 3 司会者を決めます。司会者は裏返したカードを1枚引き、そのカードを読みあげます。
- 4 グループでは、カードに書かれてあることについて話し合います。自分はどちらを選択するか意見を出し合い、その内容をもとに最終的にどちらかを決定します。
- 5 1枚目のカードが終わると、時計回りに司会者を交代します。次の司会者は、2枚目のカードを引き、4と同様にします。
- 6 カードがなくなるまで同じことを繰り返します。
- 7 すべてのグループでの話し合いが終わったら、1枚目のカードから、グループごとに出てきた意見を発表していきます。担当者は1枚ごとに各グループの意見の違いについて確認していきます。
- 8 以上の話し合いをとおして、気づいたことや感じたことを発表し合います。発表できる人だけでかまいません。
- 9 担当者の感想を言って終わります。

司会者を決めることで、話し合いがスムーズに進みます。

補身湯 (ポシントン)

犬骨と肉を長時間も煮込み、唐辛子中心の味付けをしたスープに、エゴマ葉と実、ネギ、セリを入れた料理です。

補身湯 (ポシントン) の補身とは、栄養価の高いものを摂取して体を丈夫にするという意味で、夏の最も暑い時期に夏バテ防止のためによく食べられます。四節湯 (サチョルタン)・栄養湯 (ヨンヤンタン) とも呼ばれています。



外国人雇用サービスセンターについて

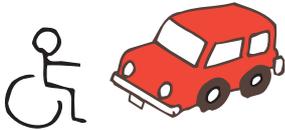
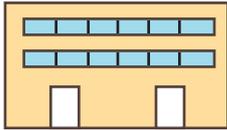
外国人雇用サービスセンター (厚生労働省管轄) は日本で就職を希望する留学生などの外国人のために、雇用情報の提供、就職相談・紹介、在留関係の相談を行っています。

- 東京外国人雇用サービスセンター
〒160-8489 新宿区歌舞伎町2-42-10 ハローワーク新宿1F
URL <http://www.tfemploy.go.jp/>
- 大阪外国人雇用センター
〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル9F
URL <http://www.ysp1-unet.ocn.ne.jp/gaisen/>

障害者の人権に関する「ちがいのちがいの」のカードは、次のページに資料として載せています。障害者の人権に関する研修にご利用ください。

ちがいのちがい

次のカードを「あってもいい違い」と「あってはならない違い」に分けてください。もし、どうしても意見が一致しないカード、判断が難しいカードは「どちらともいえない」カードとしてください。

<p>① Aホテルには車いす用のスロープがあるが、Bホテルにはない。</p> 	<p>② ある知的障害者施設では、職員は50歳を過ぎている障害のある人を「〇〇ちゃん」と呼ぶが、別の施設では「〇〇さん」と呼ぶ。</p>
<p>③ 高知県立美術館の入場料は障害者手帳を見せると免除されるが、見せない人は免除されない。</p>	<p>④ Aさんはどこへでも一人で旅行できるが、車いすに乗っているBさんは一人で電車に乗ることができない。</p>
<p>⑤ 事件を起こした時、精神病で治療を受けたことがあるAさんは病歴を報道されたが、虫垂炎で治療を受けたことがあるBさんは病歴を報道されなかった。</p>	<p>⑥ 障害者用の駐車スペースが空いているとき、Aさんは車をとめるが、Bさんはとめない。</p> 
<p>⑦ 公共施設に盲導犬とは一緒に入れるが、ペットの犬とは一緒に入れない。</p> 	<p>⑧ A社は障害のある人を3人雇用しているが、B社は1人も雇用していない。</p> 

文化のパッチワーク

<p>1 英語以外の外国語であいさつができる。</p> <p>サイン _____</p>	<p>2 コリアン女性が着る民族衣装を知っている。</p> <p>サイン _____</p>	<p>3 都道府県の一般事務職員の採用試験で初めて国籍条項を廃止したところを知っている。</p> <p>サイン _____</p>
<p>4 裴勇俊を知っている。</p> <p>サイン _____</p>	<p>5 私には外国人の友だちがいる。</p> <p>サイン _____</p>	<p>6 高知県で外国人登録をしている人が一番多い国を知っている。(2004年末)</p> <p>サイン _____</p>
<p>7 アイヌの言葉を1つでも知っている。</p> <p>サイン _____</p>	<p>8 インドで一番多く信仰されている宗教を知っている。</p> <p>サイン _____</p>	<p>9 高知県で異文化理解講座や異文化出前講座を開催したり、外国人相談窓口を実施したりしている団体を知っている。</p> <p>サイン _____</p>

その一 答えを知っているものがあったら、1つだけに自分のサインをしてください。

その二 1～9の答えを知っている人を探し、その人に1つだけサインをしてもらってください。知っている答えが複数あっても、サインしてもらえるのは1つだけです。

その三 サインのところに名前を書いてもらうのは一人だけです。時間内にできるだけ多くのカードにサインをしてもらってください。

その四 担当者が終わりの合図を出したら、席についてください。

Here we go. (さあ始めましょう)



Point ポイント

私たちの周りにはさまざまな国の人が住み、それぞれに文化をもっています。異なる文化を理解することは、自国の文化を知ることにつながります。多様な文化や日本で暮らす外国人の現状を知ることとおして、外国人の人権について考えてみましょう。

すすめ方の例

- 1 話のタネを配り、時間内にできるだけ多くのサインを集めてもらいます。
- 2 時間（5～8分）がたったら、席についてもらいます。
- 3 最初の質問から答えを聞いていきます。参加者からサインを書いてもらった人の名前を教えてください、その人から答えを聞いていきましょう。
- 4 答えが不十分だった場合は、担当者が補います。→解説参照

文化のパッチワークの解答と解説

1 英語以外の外国語のあいさつを知っている。

解説 いろいろな国の言葉であいさつしてみましょう。出てきた言葉を使って隣同士であいさつすると、ウォーミングアップにもなります。

「こんにちは」

スペイン語…Buenas tardes (ブエナス タルデス)

インドネシア語…Selamat siang (スラマチアン)

イタリア語…Ciao (チャオ)

ベトナム語…Chao anh (チャオ アイン)

2 コリアン女性が着る民族衣装を知っている。

解答 チマ・チョゴリ

解説 チョゴリとは上衣のことをいい、男女とも同じ形です。女性はこの下にチマ（スカート）をはくので「チマ・チョゴリ」です。男性は「パジ（ズボン）」をはくので「パジ・チョゴリ」といいます。韓国では通常「韓服（ハンボク）」といいます。

3 都道府県の一般事務職員の採用試験で初めて国籍条項を廃止したところを知っている。

解答 高知県 1997（平成9）年

解説 きっかけになったのは1994（平成6）年秋、知事室を訪れたコリアン女性の訴えでした。そして、1997（平成9）年4月、高知県は都道府県で初めて国籍条項を廃止しました。2004（平成16）年末現在、国籍条項を廃止しているのは11府県です。

4 裴勇俊を知っている。

解答 ペ ヨンジュン

解説 皆さんがよくご存知のヨン様です。韓国の第15代大統領の盧武鉉（ノ ムヒョン）や第16代大統領の金大中（キム デジュン）などコリアンの名前はハングルで発音します。ちなみに、教科書ではその国の言葉に近い発音で表わすようになってきました。

例 マホメット→ムハンマド、マゼラン→マガリャンイス

5 高知県で外国人登録をしている人が一番多い国を知っている。 解答 中国

国籍	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	インドネシア	ヴェトナム	米 国
人数	1,363人	790人	595人	310人	293人	112人

(高知県国際交流課 2004年末)

6 私には外国人の友だちがいる。

解説 外国人の友だちのいる参加者を探しましょう。その友だちとてびっくりしたことや日本の文化とは違うなあと感じたことなどを聞き出しましょう。きっと面白いエピソードが出てくるはずですよ。

7 アイヌの言葉を1つでも知っている。

解説 アイヌ民族は日本の少数民族です。現在、約24,000人が北海道に住んでいます。高知県を代表する川・四万十川もアイヌの言葉に由来するという説もあります。

例 シ・マムタ(四万十) …はなはだ美しい イアンカラブチ…こんにちは
 アイヌ…人 ウタリ…仲間 カムイ…神 キムンカムイ…クマ
 イヨマンテ…熊の魂送り ヌプリ…山 コタン…集落 ムックリ…口琴
 ビリカ…かわいい オマブ…愛する ミナ…笑う など

8 インドで一番多く信仰されている宗教を知っている。 解答 ヒンドゥー教

解説 ヒンドゥー教はインドの社会構造や生活文化に多くの影響を与えています。
 例えば、ヒンドゥー教では牛は神聖なものであり、ヒンドゥー教徒は牛肉を食べません。また、左手は不浄とされ、食事のときは右手を使います。
 これに対しイスラム教では、豚は不浄なものとしてイスラム教徒は豚肉を食べません。ここでは宗教を例にしましたが、国や文化の違いによって生活が大きく違ってきます。参加者から情報を引き出しながら、さまざまな文化について共有しましょう。

9 高知県で異文化理解講座や異文化出前講座を開催したり、外国人相談窓口を実施したりしている団体を知っている。 解答 財団法人高知県国際交流協会

解説 財団法人 高知県国際交流協会では次のようなことをしています。

- 1 国際感覚豊かな“県民”の育成
 - ・韓国青少年訪問団受け入れや異文化出前講座など
- 2 国際交流、協力活動等の情報提供
 - ・機関紙の発行やインターネットでの情報提供など
- 3 民間国際交流・協力関係団体等の自立への支援
 - ・民間国際交流・協力ボランティアリーダー育成セミナーなど
- 4 在住外国人や留学生へのサポート
 - ・日本語講座の開催や外国人入籍・生活相談など
- 5 友好姉妹都市交流の推進
 - ・高知県友好姉妹都市との交流促進
- 6 県外県人会活動支援事業
 - ・海外県人会活動への補助

URL <http://www.kochi-f.co.jp/kia/>



高知でのドキドキ

朱（シュ）さんは中国からの留学生。県内の大学で学びました。高知ではたくさんの友だちもできましたが、一方で、ドキドキすることも多かったと言います。彼女を悩ませたのはどんなことだったのでしょうか。そのドキドキについて、みんなで考えてみましょう



スタート

サイコロをふって進もう

1つもどる

自分の好きなところを2つ言いましょう。

私が言われてうれしい言葉は〇〇です。

1つすすむ

子どもの頃、これはおいしいと思った食べ物を2つ。

最近食べた外国の料理は？

止まれ

アパートを探そう！

大学で一生懸命学ぶためにも、まずは宿（アパート）探しです。でも、先輩の留学生の人たちから話を聞くと、ちょっと心配になってきたんです。みなさんは、こんな心配はしないのかなあ？



不動産屋さんに行くと、「学部の先生が保証人なら貸す。ダメならこの話はなかったことに…」とされました。学部の先生にはまだ会ったこともないのに…。

「ゴミの処理などのマナーが悪いから周りに迷惑をかける」と断られました。生活するうえでのきまりがあるなら、教えてもらえばきまりどおりにやるのに…。

1つすすむ

あなたが知っているコリアンの名前を言いましょう！

あなたが最近、一番行ってみたいと思う外国はどこ？それはどうして？

あなたが最も身近に感じる外国はどこ？それはどうして？

県内の外国人登録者数のベスト3は？

最初はとても不安だったのですが、今お世話になっている会社は、日本人の従業員がとても優しくしてくれます。日本人と同じように接してくれます。

給料明細とタイムカードの時間が違っていて給料が少なかったので店長に言うと、「少ないときだけ言うてくる。多いときには言わないくせに」と言われました。一言「ごめん」ですむのに。

お客さんが「コショウをもってきて」と言ったので、店長にコショウはどれか尋ねると、「これがコショウだ、忘れるな！」と言って頭からコショウをふりかけられました。

学費と生活費も自分で何とかしないと行けません。だからアルバイトは欠かせません。でも、先輩の留学生の話の聞くと、ちょっとドキドキするんです。



アルバイトも頑張らないと…

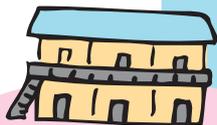
コリア料理といえば〇〇です。

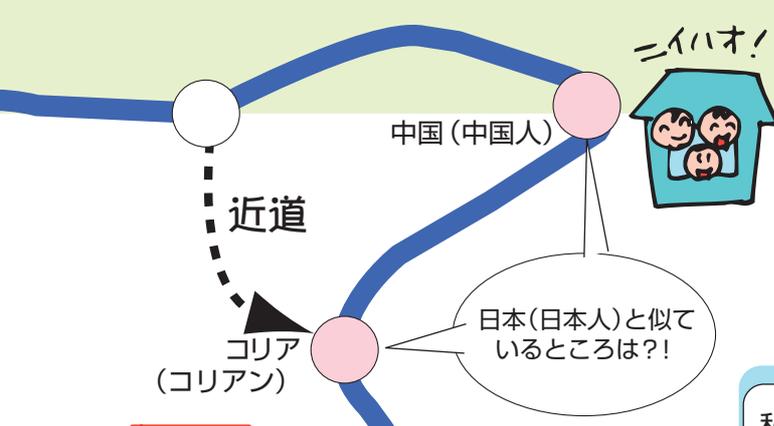
あなたが知っている中国人の名前を言いましょう！

中国料理といえば〇〇です。

あなたが知っている中国の都市の名前を言いましょう！

以前、大学で斡旋してくれたなかに「外国人不可」のアパートがあってビックリ。でも、その後すぐに大学が対応してくれました。今はもちろん、ありません。





ゴール(新たなスタート)

①もし、となりに中国人の家族が引っ越して来たら、あなたはどのようつきあい方をしますか？
 ②私たち一人一人が中国と日本の「架け橋」になるために大切にしたいことはどんなことですか？

ゴール!

止まれ 気になります

ニュース番組を見ていて、ちょっと気になることがあるんです…。事件が起きたとき、「アジア系外国人の犯行」「犯人は片言の日本語」と言ったりしますよねえ。



私は日本(日本人)の素晴らしさを親や友だちに伝えたいのです。でも、体験したのは辛いことが多かったです。どうやって伝えようか今からドキドキします。〈ゴールへ〉

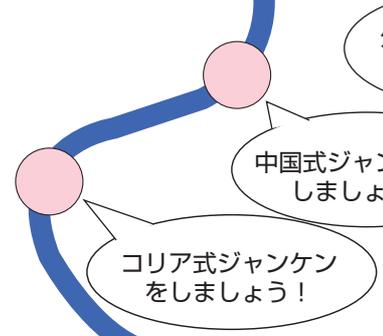
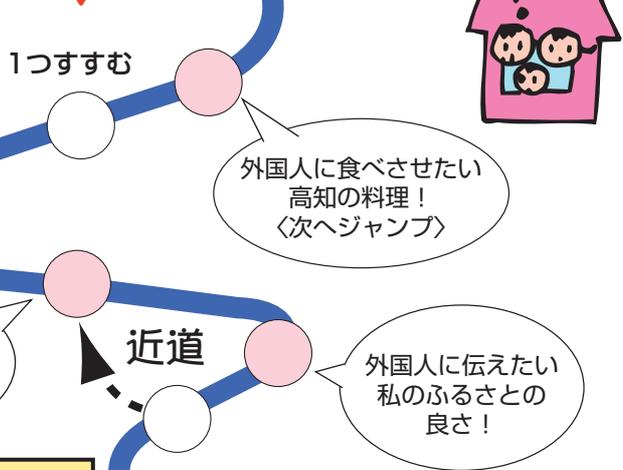
国際交流はもっと身近にあるものではないでしょうか。私たち一人一人が中国と日本の「架け橋」なのではないかと最近思っています。〈ゴールへ〉

そんなニュースを聞くと、私たちがそんな目で見られるのではないかとドキドキするんです。

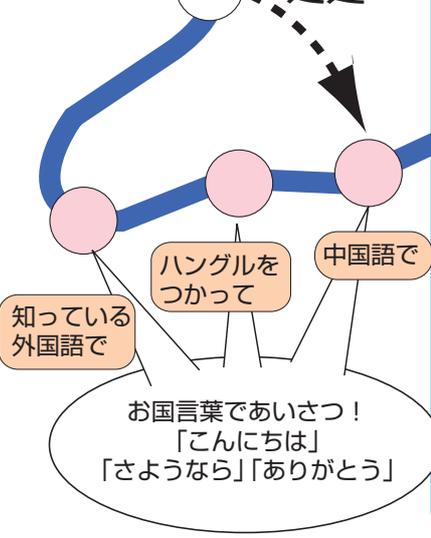
中国人にも、いい人間もいれば、悪い人間もいます。それは日本人もアメリカ人も同じではないでしょうか。全てをひとくくりに見ないでほしいんです。

実は、日本のことをどう伝えるか私は迷っています。

止まれ 故郷へ帰ります



止まれ 元気をもらって



高知のまちには、支えてくれる仲間やボランティアの人たちもいます。たくさん元気をもらっています。本当に感謝しています。

「留学生を支援する会」というボランティア組織が、いろいろなイベントを企画してくれ、高知での私たちの生活を支えています。謝謝(シエシエ)!



知っている外国語で
 ハングルをつかって
 中国語で
 お国言葉であいさつ!
 「こんにちは」
 「さようなら」「ありがとう」

一番うれしいのは、話を聞いてくれる人がいるということです。つらいこともあります。それを話すのは勇気がいりますが、話を聞いてもらえると、一歩進んだ気持ちになります。

昨年、留学生会をつくりました。自分たちで支え合って学習・生活するためです。大学では、国際交流室を構えてくれました。時間がある時はそこに行って仲間とおしゃべりします。

Point ポイント

私たちにとっての隣人（隣国）は、「近くて遠い存在」になってはいませんか？過去の歴史をふり返りながら、同じ「アジア人」として互いに尊敬し合う関係をどのように築いていけばいいのでしょうか。この「話のタネ」は、中国人留学生が高知で体験した出来事を「すごろく」にしたものです。わたしたちが隣人（隣国）に接する態度や、よりよい関係を築いていく（「架け橋」となる）ために大切にしていきたいことなど、このゲームをとおして話し合ってみましょう。

すすめ方の例

- 1 4～6人のグループをつくり、司会者を決めます。「話のタネ」を配り、簡単な話の内容とやり方を説明します。
- 2 すごろくは次のように行います。
 - ①グループ内で一人ずつ交代でサイコロをふって進めます。
 - ②【アパートを探そう！】【アルバイトも頑張らないと…】【気になります】【元気ももらって】【故郷へ帰ります】の5つの場面では必ずストップし、書かれてあるエピソードを読んだ後、思ったことや心に引っかかったことなどをグループで5～10分間ずつ出し合います。（もし自分自身が、外国に行って同じ体験をしたら…と考えながら意見を交流しましょう。）
 - ③5つの場面以外のところでは、一人ずつ順番に話したら（活動したら）次へ進むようにします。話（活動）に必要な情報については、資料として載せてあるので参考にしてください。※すすめ方でわからないことがあれば、すぐに質問してもらうようにしましょう。

話のタネ（1枚）を拡大し、みんなで一緒にやってみてもいいかも…。

準備するもの

- サイコロ（大）：グループ数
- コマ：グループ数
- 話のタネ（すごろく）：グループに1枚ずつ

- 3 ゴールしたら、次のことについてグループで話し合います。
 - ★1 もし、隣に中国人（またはアジアの人々）の家族が引っ越してきたら、どういうつきあい方をしますか。
 - ★2 私たち一人一人が中国（またはアジアの国々）と日本の「架け橋」になるために大切にしたいことはどんなことですか。
- 4 出されたエピソードや意見を代表者が簡単に発表して全体で共有します。
- 5 話し合いのなかで出てきたエピソードや意見、「Point ポイント」などをおりませながら、担当者の感想を言って終わります。

◎ジャンケン

	言い方			
日本	「じゃん けん ぽん」	石	はさみ	風呂敷
中国	「猜猜猜」(ツァイ ツァイ ツァイ)	石	はさみ	布
コリア	「Kai bai bo」(カイ バイ ボ)	石	はさみ	布

他の国のジャンケンをして楽しんでみましょう！
※ジャンケンも、地域によって言い方などに違いがあります。

◎あいさつ

日本	中国	コリア
おはようございます	ゾオ シャン ハオ (早上好)	アンニョンハセヨ (안녕하세요)
こんにちは	ニイ ハオ (你好)	アンニョンハセヨ (안녕하세요)
こんばんは	ワン シャン ハオ (晚上好)	アンニョンハセヨ (안녕하세요)
ようこそ高知へ	フォン イン ダウ ガオヂー ライ (歓迎倒高知来)	コーチエ チャル オシヨスムニダ (고치에 잘 오셨습니다)
高知は素敵な所です	ガオヂー シー ハオ ダ ディーファン (高知是好的地方)	コーチヌン モッチンコシムニダ (고치는 멋진 곳입니다)
さようなら	ヅァイ ジェン (再见)	アンニョンヒ カセヨ (안녕히 가세요)
よい一日を	マン ヅォ (慢走)	ジョウン ハル ドウエセヨ (좋은 하루 되세요)
ありがとう	シェ シェ (謝謝)	カムサハムニダ (감사합니다)

言葉をいろいろに組み合わせて、中国語やハングルをつかってやりとりしてみましょう！

◎高知県国籍別外国人登録人数

中国	1,363人
韓国・朝鮮	790人
フィリピン	595人
全体	3,971人
	(2004年末)



じんけんクロスワード

1		3					5		
					8				
				4					
		9							
							6		7
	10								
2									
11						12			
	13								

縦のヒント

- 1 高齢者、身体に障害のある人等が円滑に利用できる特定建物の建設の促進に関する法律、〇〇〇〇〇法。2003(平成15)年4月に改正され、多くの人が利用する建物は高齢者や障害のある人に利用しやすいように建設しなくてはならなくなりました。
- 2 車いすマラソンが行われるのは〇〇〇町。牧野富太郎博士の出身地です。
- 3 身体に障害のある人が、日常生活動作を少しでも自分でできるように工夫した身近な道具。片手の操作だけで中のものがすくえ、こぼれにくいフードガードや、握る力が弱い人のためのグリップ付きスプーンなどがこれにあたります。
- 4 障害のある人が、地域社会のなかで障害のない人と同じように社会の一員として生活を営み、行動できることが本来の社会であるという考え方。
- 5 身体に障害のある人などに対し、自宅を訪れ家事や介護などさまざまな援助を行う人。ホーム〇〇〇〇。
- 6 全般的には知的発達遅れはないものの、聞く、話す、読む、計算するなどの特定の能力の習得や使用に著しい困難を示すさまざまな障害の総称を〇〇〇〇〇障害といいます。LDのことです。
- 7 車いすでも乗れるように床を低くして作ってあるバスのことです。

横のヒント

- 1 目の不自由な人が持っている白い杖のことです。
- 5 奇跡の人、〇〇〇・ケラー。彼女は「障害は不自由ではあるが、不幸ではない。障害者を不幸にしているのは社会である」と言っています。
- 8 この頃、車いすのマークの駐車スペースに平気で車をとめる〇〇〇の低い人が多くなりました。
- 9 地域社会にある住宅において数人の障害のある人が共同で生活する形態。専任の世話人によって食事や日常生活に必要なサービスが提供されます。
- 10 2002(平成14)年、高知で開かれた全国障害者スポーツ大会のことです。〇〇〇〇〇〇〇高知。
- 11 障害のある人たちが日々の感じたことや思いを綴った“詩”をメロディーにのせて多くの人たちに伝えるコンサートです。〇〇〇〇〇コンサート。
- 12 視覚に障害のある人をサポートする犬のことです。〇〇〇〇犬。
- 13 障害者のオリンピックです。2004(平成16)年はアテネで行われました。

Point ポイント

障害者の人権に関する言葉をクロスワードパズルにしてみました。少し難しい言葉もあるかもしれませんが、障害者の人権に関する研修のウォーミングアップとして利用してみてもいかがですか。

すすめ方の例

- 1 話のタネを配って、個人で書き込んでもらいます。
- 2 グループになって答え合わせをします。
- 3 参加者から答えを聞き出しながら、答え合わせをします。答えが出ないところや説明が必要なところは担当者が補います。

縦の答えと解説

- 1 ハートビル (法)
ハートビル法の認定を受けた建物はシンボルマークの  を表示できます。重なり合う2つの楕円は、利用する人たちのふれあいの輪がつながってできるあたたかなハートを表現しています。
- 2 サカワ (町) 佐川町
2004 (平成16) 年で13回目の開催となりました。
- 3 ジジョグ 自助具
自助具とは体の不自由な人が日常生活をより快適に送るために、可能な限り自分でできるように工夫・考案された道具のことです。ふくし交流プラザでは、自助具の貸し出しを行っています。
- 4 ノーマライゼーション
- 5 ヘルパー
- 6 ガクシュウ (障害) Learning Disabilities (学習障害)
特別支援教育を進めるにあたっては、学習障害や注意欠陥／多動性障害 (ADHD) などを含めて、一人一人の教育的ニーズを把握して適切な支援を効果的に行うことが重要です。
- 7 テイショウバス 低床バス



フードガードと
クリップ付きスプーン
フォーク

横の答えと解説

- 1 ハクジョウ 白杖
- 5 ヘレン ヘレン・ケラー
- 8 モラル
- 9 グループホーム
- 10 ヨサコイピック よさこいピック高知 第2回全国障害者スポーツ大会
- 11 ワタボウシ わたぼうしコンサート
わたぼうしコンサートは1975 (昭和50) 年4月に奈良県で始まりました。
高知県では2004 (平成16) 年で第18回を数えました。
- 12 モウドウ 盲導犬
- 13 パラリンピック



わたぼうしコンサート

高知城にエレベーター?!



※この話はフィクションです。

高知県の、とある新聞の読者のコーナーに1通の手紙が届きました。手紙の内容は次のとおりです。

私は生まれたときから障害があり、車いすに乗って生活をしています。以前はまちのバリアフリーがあまり進んでおらず、ショッピングや映画を楽しむことができませんでした。しかし、最近バリアフリー化がすすみ、まちに出やすくなりました。

こんな私には以前からかなえたい夢があります。それは高知城にのぼることです。日曜市から高知城を見あげると、天守閣から多くの人を楽しそうにしているのが見えます。私も一度でいいから高知城の天守閣から日曜市を見てみたいのです。私のように車いすで生活する人でも高知城にのぼれるように、高知城にエレベーターをつけてもらえませんか。

高知市三角ノ内 土佐太郎 16歳

この手紙が掲載されたことにより、何とかこの子の夢をかなえてあげたいというものや国の重要文化財にエレベーターをつけるとは何事だというものなど、多数の手紙が届いています。そして、今や高知県ではちょっとした騒ぎとなっています。

Point ポイント

ここでは「高知城にエレベーターをつける」をテーマに、推進派と反対派に分かれてロールプレイ・ディベートを行います。与えられた役割を演じることで、何か気づくことがあるかもしれません。自由な発想ですすめてみましょう。

ロールプレイ・ディベート

与えられた役割を演じながら、設定されたテーマについて賛成派と反対派に分かれて意見をたたかわせます。テーマは肯定も否定もどちらの考えもあるものを設定します。両派から出される意見によって、誰かの人権が傷つけられることのないよう配慮して考えます。ロールプレイ・ディベートでは勝ち負けを判定せず、役割を演じている人全員が1回か2回発言するか、大体の意見が出そろったところで終わりにします。

すすめ方の例

- 1 参加者を推進派と反対派が同数になるように適当に分け、それぞれのグループで役割の設定を行います。この時、どちらをやりたいか希望を取らず、あくまで与えられた役割を演じてもらうということを伝えます。推進派と反対派の配役は次のとおりです。

推進派

エレベーターをつけてバリアフリーに!!

- ・本人のおじいちゃん
- ・文化は時代によって変わると主張する建築家
- ・障害者の社会進出を進める親の会代表
- ・バリアフリーを推進する県議会議員
- ・バリアフリーが進んだ国の障害者
- ・自称 常識派のまちのおばさん



反対派

エレベーターなんてもってのほか!!

- ・本人のおかあさん
- ・第15代目の宮大工
- ・文化財大好き 高知城大好きおじいちゃん
- ・文化財保護を推進する県議会議員
- ・車いすにのっている障害者
- ・自称 常識派のまちのおじさん



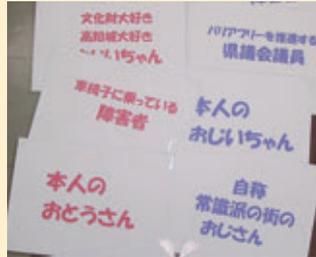
※人数が多いときは、各グループで独自に役割を設定してもいいでしょう。観客役をつくって、発言者を盛りあげても面白いですね。

- 2 作戦タイムを取ります。さまざまな役割や立場をイメージしながら話し合い、推進派と反対派の発言内容を整理します。

作戦タイム

論点整理のための話し合い

役割になりきって、自分たちの主張を考えます



厚紙に役割カードを作っておくと、どんな役割があるかが分かりやすい。発言内容は、のり付き付箋紙に書き、役割カードの後ろに貼り付けます。

- 3 ロールプレイ・ディベートのステージを準備します。ステージ前方の中央にはテーマを張り出し、推進派と反対派が向き合って座ります。

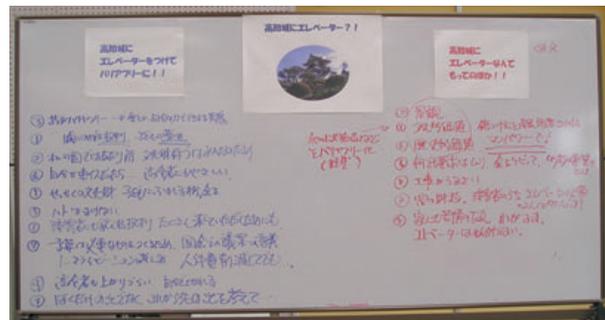


- 4 ロールプレイ・ディベートを開始します。一方のグループが続けて主張しないように、交代しながら進めます。本来ディベートは、論理で相手を打ち負かし勝敗を決定しますが、ロールプレイ・ディベートではステージ上の代表者全員が1回か2回発言するか、だいたい論点が出そろったところで終わりにします。時間の目安は15~20分くらいです。

- 5 出てきた意見の論点を整理します。ロールプレイ・ディベートのやりとりを、ホワイトボードや模造紙に整理しておくと、論点をまとめやすいでしょう。

出てきた意見の整理方法

出てきた意見を推進派は青色、反対派は赤色でまとめると、視覚的にも会議の様子が分かりやすくなります。また、作戦タイムの間にメモをして回ると、全体での発表の時、話の内容を整理しやすくなります。



ロールプレイ・ディベートをスムーズにするために

役割に応じた発言内容の例を載せておきます。作戦タイムで発言の内容がなかなか出てこないときなどに参考にしてください。

エレベーターをつけてバリアフリーに!! (推進派)



本人のおじいちゃん

- ・小さい頃から自分の行きたい所にも行けずかわいそう。かわいい孫のためにエレベーターをつけてください。
- ・生きている間に孫と一緒に高知城にのぼってみたい。

文化は時代によって変わると主張する建築家

- ・文化の価値観は時代によって変わっていく。文化財も時代にあったものにすべきだ。
- ・高知城に似合うエレベーターだって作ることができる。外から分からないようにエレベーターをつけることだってできる。

障害者の社会進出を進める親の会代表

- ・障害者だからといって文化財に接する機会が制限されることに問題がある。そのことが障害者の社会進出をはばんでいる。
- ・障害者の社会進出を考えると、公共施設から率先してバリアフリーにすべきだ。



バリアフリーを推進する県議会議員

- ・高知県では「ノーマライゼーション」を基本理念に、平成15年度から24年度まで高知県障害者計画を進めています。障害者が住みやすい社会をつくるのが県民の務めです。
- ・高知城にエレベーターがつけば、観光客が増えて経済効果も期待できる。



バリアフリーが進んだ国の障害者

- ・遅れてるよ。私の国ではバリアフリーは当たり前。日本は経済は進んでいるけど、福祉は遅れているね。

自称 常識派のまちのおばさん

- ・高知城にのぼってみたいという子どもの気持ちを大切にしよう。エレベーターをつければ、障害者だけではなく高齢者など体力的にしんどい人も楽になる。
- ・文化財はみんなのものであり、みんなが使いやすいのは当然。

エレベーターなんてもつてのほか!! (反対派)



本人のお母さん

- ・子どもの個人的な感情だけで、高知城にエレベーターをつけて欲しいなんて、それは息子のわがままです。
- ・反対派の人から家に苦情の電話がかかってきます。

第15代目の宮大工

- ・高知城には今では見られない建築技法が見られる。エレベーターをつけると、それらを壊すことになる。
- ・ご先祖様が残していったものを、子孫に受け継ぐのが私たちの使命であり、義務である。

文化財大好き、高知城大好きおじいちゃん

- ・文化財保護法では有形文化財のうち、重要なものを重要文化財に指定し、保護の対象としています。
- ・山内家のお城に傷をつけるとはもつてのほか。

文化財保護を推進する県議会議員

- ・文化財は私たちみんなの宝物です。長い歴史のなかで生まれ、今日まで守られてきた文化財を保護するのは県民の務めです。
- ・高知県も財政難である。高知城にエレベーターをつけるよりもっと優先的にしなければならぬことがある。



車いすにのっている障害者

- ・障害があるからといってなんでも要求することに疑問を感じる。一人の人間としてできることとできないことがあっていいのではないか。
- ・もっと多くの人を利用するところをバリアフリーにしたい。



自称 常識派のまちのおじさん

- ・高知城にエレベーターをつけなくても、背負うことによって障害者も高知城にのぼることはできる。ハード面ばかり考えるのではなく、ソフト面を大事にしてはどうか。もっと心のバリアフリーを推進しよう。

ヒューマン通りの喫茶店 Part2

登場人物の紹介

ここはヒューマン通りの喫茶店。テンポのいいおばちゃんとマスターがいます。



おばちゃん マスター

手作りケーキの店「シフォン」



障害児・者の親が集まり、障害者の働く場を増やそうと特定非営利活動法人（NPO法人）を設立しました。まずは手作りのケーキ屋をはじめました。設立に参加した二人の親が二人の障害者と共に元気に働いていますが、経営は苦しく毎月の給料払いに四苦八苦しています。



まりちゃん なみちゃん 課長 山下

株式会社 高知



障害者の雇用にとても積極的な会社。ここでは精神障害者の雇用を考えていて、現在数人の方が臨時雇用されています。



課長 山下

場面 1

なみちゃんとまりちゃん 店にはいってくる

- おばちゃん ・なみちゃん、まりちゃんいらっしやい。
- マスター ・大竹君と、りえちゃんが今日はおらんねえ。
- まりちゃん ・頑張ってシフォンケーキづくりゆう。それで私らが配達に行きゆうがやけんどねえ。今月もちよっと給料払いが苦しいがよ。
- マスター ・みんなあ口がこえちゆうきねえ。食い物商売は難しいで。俺らも一緒よ。
- おばちゃん ・けんど、あんたらあNHKみたいな名前やったやいか。ただのケーキ屋じゃないがやろう。
- まりちゃん ・NPOやき、おばちゃん。特定非営利活動法人という舌かむような長い名前よ。わたしらは障害児の親やきねえ、まず親の力で子どものためにいろんな「機会」をつくってみようって…。
- なみちゃん ・そしたら何が一番必要か身をもって知ることができらう。その経験をもとに、わたしらにできんことを、皆さんにお願いしたらもつと共感してもらえと思うがよ。
- おばちゃん ・私の友だちの息子さんは、養護学校を卒業して20年間会社に雇うてもろうちよったがやと。けんどある日突然リストラで首や。
- なみちゃん ・もうお先真っ暗やねえ。
- おばちゃん ・お母ちゃん泣きよったで。「障害がなかったら彼女ができて、結婚して、子どもが生まれてねえ。仕事で疲れても家族に心癒されて、よし明日も頑張るぞ、とりフレッシュできたかもしれん」て。
- マスター ・俺はストレスがたまりっぱなしやけんど。
- おばちゃん ・そら自業自得というがやないが。
- マスター ・そうともいう。

- おばちゃん ・「息子は何ちゃあ趣味もない、会社と家の往復の20年間やった」と。そら、身も心もぼろぼろになるぞね。
- まりちゃん ・そう、就職しても、余暇の過ごし方も知らん、友だちもおらんじゃあ働く意味がない。結婚もあり得る。そういうことも考えんとねえ。だから、みんなが知恵を出せる集まりがいるわけよ。
- おばちゃん ・それがNHKながか。
- まりちゃん ・……NPOやき。
- おばちゃん ・お母ちゃん言いよった。「今行ってる福祉作業所は月2千円ばあしかももらえんけんど、息子が毎日ニコニコして通いゆう。前の仕事のときはあんな顔してなかつた」って。
- マスター ・まことそうやねえ。にこにこしちゆう。
- おばちゃん ・「先のこと考えたら心配ごとばっかりやけど、今のあの子の笑顔を見ると、就職、就職って必死になったのがあの子にとって本当に良かったらうかとつくづく考えさせられる」って言いよったよ。
- なみちゃん ・そうなんよ。私らは福祉施設の居心地のいい部分と会社の収益性がドッキングしたもんをつくりたいが。
- まりちゃん ・要は、一人一人の力をうまく引き出して、その子に合う仕事を私らがつくっちゃったらえいがよ。けんど私らだけの力ではねえ。
- なみちゃん ・ここで、理想論を語ってもご飯は食べれません。販売に行こう、まりちゃん。
- おばちゃん ・今日はどこに行くがぞね。
- まりちゃん ・障害者の雇用にえらい熱心な会社ながやと。社員に売ったらえいき一度販売に来てください言うてくれたがよ。
- マスター ・そら、えいやいか。
- なみちゃん ・行ってきます。
- おばちゃん ・気いつけてね。

あらすじ

ここは「ヒューマン通りの喫茶店」。今日も常連さんのまりちゃんとなみちゃんがやって来ました。二人が働く「シフォン」の経営が今月も苦しいとぼやきます。その二人をマスターとおばちゃんは精一杯励まします。

今日は、障害者雇用に積極的な「株式会社 高知」に販売に行くことになっています。マスターとおばちゃんに励まされ、まりちゃんとなみちゃんは出かけていきました。

行ってみると、あいにく課長と社員（山下）しかおらず、ほかの人は外勤していました。「高知」では精神障害のある人が社会復帰をめざして働いています。障害のある人と一緒に働くなりちゃんとなみちゃんは、互いに共感し合えるものと期待していました。しかし、課長との会話が今一つ弾みません。障害のある人と一緒に働くことについて少し考え方が違うようです。二人は課長の考え方に怒りを覚えました。

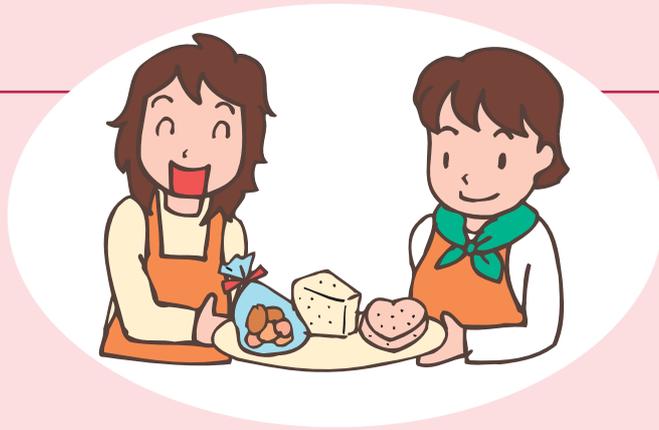
まりちゃんは、課長をこらしめてやろうとなみちゃんと社員の山下に相談します。さてその結果は…。

場面 2

なみちゃんとまりちゃん「株式会社 高知」を訪れる

- なみちゃん ・こんにちは。営業課長さんおられますか。
- 山下 ・課長、お客さんで。
- 課長 ・はい、どちらさんでしたかねえ。
- まりちゃん ・この間お電話いただきました「シフォン」というケーキ屋です。
- 課長 ・ああ。お客さんから、会社でも販売させちゃってくれえいうて、頼まれたがよ。
- なみちゃんとまりちゃん、課長に促されイスにすわる。
- 課長 ・うちも精神障害者を試しに雇ちょらよ。だいたい福祉、福祉いうて障害者を甘やかしてきたから使いもんにならん。1階で会わなかった？
- まりちゃん ・なんかマラソンランナーみたいにゼッケン付けてる人がいました。
- 課長 ・それぞれ。まともにあいさつもようせん。あいさつは店のイメージをあげる第一歩や。
- なみちゃん ・元気はなかったけどあいさつしましたよ。
- 課長 ・午後はなあ、まだましよ。朝は遅れるわ仕事はのろいわ。薬飲んでるから、午前中は頭がボーっとしてるんやって、病院の人が言いよったわ。
- まりちゃん ・あの人たちはあの人たちなりに、社会に受け入れられて頑張りたいんだと思いますけど。
- 課長 ・何甘いこと言いゆうで。そんな甘い顔すると、「ぼくたちのことをもっと理解してください」って、いっちょ前のこと言うがやき。なあ、山下。
- 山下 ・…。
- なみちゃん ・何でゼッケン付けてるんですか。
- 課長 ・社員と一目で識別できるやろう。何かあっても、あいつらは社員やないのでって言い訳できる。わしのアイデアや、なあ、山下。
- 山下 ・……。
- 課長 ・あんたらんここはどんな障害者雇ってるんで。

- まりちゃん ・うちは、自閉症の大竹君とダウン症のりえちゃんがすごく頑張ってくれてます。
- 課長 ・自閉症いうたらじっとしようおらん子やろ。
- なみちゃん ・自閉症でも、一人一人違います。多動の子もおれば内にこもる子もいます。個性を見ることが障害者と働くとき一番大切なことと思ってます。
- まりちゃん ・うちは適材適所を心がけてます。大竹君は私らよりずっと味が正確です。りえちゃんほどこにいても人気者で商売のコツをよう心得てます。
- 山下 書類を書いてた手を止めて聞き耳立てている。
- 課長 ・…。しかし、みな帰ってこんなあ。ちょっと、1階みてくるわ。
- 課長が部屋を出て行く。
- まりちゃん ・なんやあれ。あの課長、むかつく。障害者を雇うてるいうから期待してたのに。ただの世間向けのポーズながやいか。
- なみちゃん 山下がいることを大きなジェスチャーで示す。まりちゃん はっと気づき、山下の方を気まずそうにのぞく。
- 山下 ・いやあ、えい話聞かせてもらいました。障害者が生き生き働いてる様子が目に浮かんできました。あのおっさんには理解できんです。
- なみちゃん ・いや～、むっつりがしゃべったちや。
- 山下 ・誰がむっつりや。ぼく、山下と言います。うちは障害者を雇うことでイメージアップを図るとかいろいろ言いよりますわ。
- まりちゃん ・それやったら、「シフォン」はすごいイメージアップにならんといかんに、おかしいなあ。
- 山下 ・けどねえ、社員と同じようにすることを求めても、無理なことはわかりきってます。
- まりちゃん ・ようし、ほんならあの課長をちょっとこらしめちゃうや。
- なみちゃん ・どうやって？
- まりちゃん ・今日持ってきた商品、全部あいつに売りつけろや。山下さん協力してくれるろう。
- 山下 ・わかりました。



場面3

課長が部屋に戻ってくる。

- 課長 ・いかんぞ。誰っちゃん帰って来てない。山下、二人で買えるばあ買うしかないぞ。
- まりちゃん ・課長さんすみません。今日これ全部売らんと給料払えんがです。全部買って。お願い。
- 課長 ・そんな無茶いうなよ。
- なみちゃん ・私ら、課長さんが障害者を雇おうとする心意気を十分感じることができました。
- まりちゃん ・課長さんの心意気にすがりたいんです。
- 山下 ・ぼくも課長の素晴らしさに初めて気づきました。これから「シフォン」を応援してうちのイメージアップにつなげていきましょう。だから、全部買ってあげてください。
- 課長 ・おまえ、えらい雄弁になったなあ。入社以来初めて聞いたぞ。
- なみちゃん ・ゼッケンの人に、シフォンケーキ食べさせてあげてください。課長の気持ち伝わって、ますます仕事頑張るようになりますよ。
- 山下 ・そしたら、障害者の雇用に情熱燃やしてる課長の評価もぐんとあがるやないですか。
- 課長 ・おまえの言い方、何かトゲがあるなあ。
- 山下 ・めっそうもない。
- 課長 ・まあ、今日はあんたらから障害者の個性を引き出して適材適所で仕事をさせてるということ聞いてなあ、わしはそういう目であいつら見たことなかったから、ちょっとドキッとしたりわ。
- 山下 ・課長、気がつきましたか。
- 課長 ・おまえの言い方、ほんとにトゲがあるなあ。
- 山下 ・めっそうもない。
- 課長 ・シフォンさんとお付き合いさせてもらうてイメージアップ図るという案もええと思う。

- なみちゃん ・いやあ課長さん、えいこというわ。まだシフォンケーキあります。帰って持ってきます。
- 課長 ・何言うてるんや。これ以上は無理で。
- まりちゃん ・山下さんありがとう。作戦大成功や。
- 課長 ・作戦やて？
- 山下 ・え、いや何でもありません。
- 課長 ・どうも、おまえがベチャクチャしゃべるから何かおかしいと思いつたら、何の作戦がな、山下。
- 山下 ・あ、すみません課長。永野病院の藤本先生のところに行って来ます。訓練させてもらいたい患者さんがおられると電話がありましたので。「シフォン」さんまた来てくださいね。
- 山下、部屋を出て行く。
- 課長 ・こら、話を変えるな。ちょっと待てえ。あいつ、急に元気になったなあ。
- なみちゃん ・そしたら、課長さんすみません。全部で2万円になります。ありがとうございます。
- 課長 ・あ、そうやな。しかし、そんな大金あったかなあ。
- まりちゃん、財布の中身をのぞき込む。
- 課長 ・それで、作戦で何で。
- なみちゃん ・いかん、まりちゃん、はよう帰っちゃんらんと大竹君とりえちゃんが仕事わからんで困っちゃうかもしれん。
- まりちゃん ・いや、まこと。はよう帰らんといかん。そしたら、課長さん今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました〜。
- 課長 ・まあ待ちや。作戦で何のことか教えてくれって言うてるのに。
- なみちゃん ・ありがとうございます。失礼しま〜す。
- まりちゃん、なみちゃん部屋を出て行く
- 課長 ・なあ、作戦で何や、教えてくれよ〜、おーい。

Point ポイント

これは、障害者の人権について学習するために創作した劇の台本です。障害のある人を雇用している「シフォン」と「株式会社 高知」ですが、どうも考え方などに違いがあるようです。

参加者一人一人が登場人物を演じることをとおして、障害のある人と共に働く、共に生きることについて考えるきっかけにしてください。

すすめ方の例

- 1 6人のグループをつくります。6人にならない時は7人のグループになってもかまいません。
- 2 「話のタネ」を配り、担当者が場の設定について簡単に説明します。
- 3 グループで「マスター」「おばちゃん」「課長」「山下」「まり」「なみ」役を決めます。グループの人数にあわせて、一人二役にしたり、演出役を加えたりしてください。
- 4 「マスター」役（または演出家役）が中心になって、台本の読み込みをします。一度読み合わせた後、工夫しながら再度読み合わせをします。
- 5 代表のグループを選び、そのグループが全体で発表します。
- 6 台本読みや発表をとおして気づいたことや感じたことなどをグループで話し合います。
- 7 グループで話し合った内容を代表者が発表します。
- 8 最後に担当者から全体をとおしての感想を言って終わります。

NPOとは？

特定非営利活動促進法（平成10年公布）にもとづく、特定非営利活動法人（Non-Profit Organizationの略）のことです。株式会社などと違い、目的が社会的活動のみとなります。利益を得るだけの目的や節税目的ではつくることができません。しかし、全く利益をあげることができないわけではありません。「非営利」とはその活動の利益分を配当として分配してはいけないという意味です。NPOが物を販売したり、サービスを提供することで利益をあげることが可能です。

●民間企業における障害者雇用の実態（高知県）

年度	企業数（社）	算定基礎労働者数（人）	障害者数（人）	実雇用率（%）	雇用率未達成企業割合（%）	全国平均雇用率（%）
16	348	55,341	856	1.55	50.3	1.46
15	318	50,922	836	1.64	48.4	1.48
14	332	52,756	879	1.67	46.1	1.47
13	336	53,368	922	1.73	45.5	1.49
12	335	54,459	897	1.65	45.1	1.49

※民間企業の法定雇用率は1.8%。調査対象は常用労働者数56人以上の企業。

【ひきだし2】 のすすめ方の例（基本形）

ウォーミングアップ

- (1) 「話のタネ」を配り、読みます。
- (2) 4～6人のグループになり、「話のタネ」をもとに話し合います。
「話し合いの視点①」を参考にしてください。



〈話し合いの視点①〉

- (3) 話し合った内容をグループの代表者が簡単に発表します。
※発表された内容をホワイトボードなどに簡単に書きとめておくと、ふり返るときに活用できます。
- (4) これまで出された意見やエピソードなどをもとに、新しい気づきやこれから大切にしていきたいことなどについて話し合います。



〈話し合いの視点②〉

- (5) 話し合った内容をグループの代表者が簡単に発表します。
※発表された内容をホワイトボードなどにまとめると、気づきや大切にしたいことが全体で確認できます。

◆資料を途中で提供したり（例えば（3）の後など）、最後に読み合ったりすることで、さらに深めることもできます。

担当者の感想

全体をとおして、参加者と一緒にエピソードや気づきを共有しましょう！

話のタネ

【ひきだし2】

「外国人の人権」からひろげる話のタネ

SEED 7 ぼくの絵日記

SEED 8 知らなかったちや！

SEED 9 二つの名前

「障害者の人権」からひろげる話のタネ

SEED 10 まちのバリアフリーチェックから

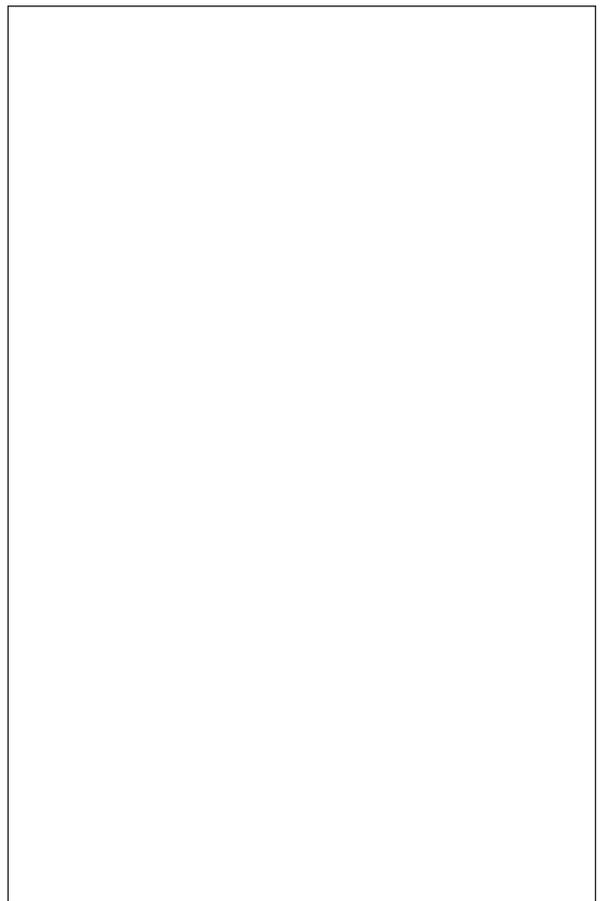
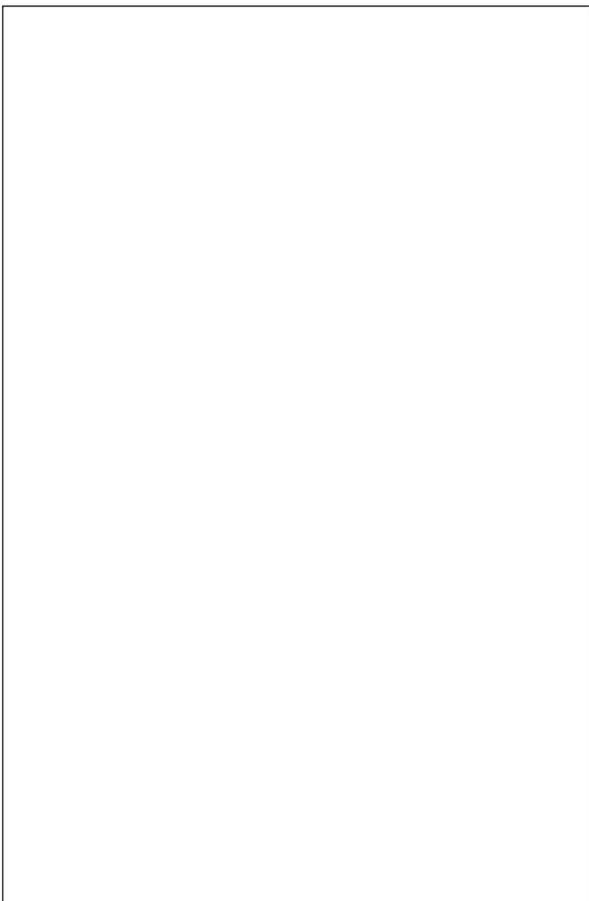
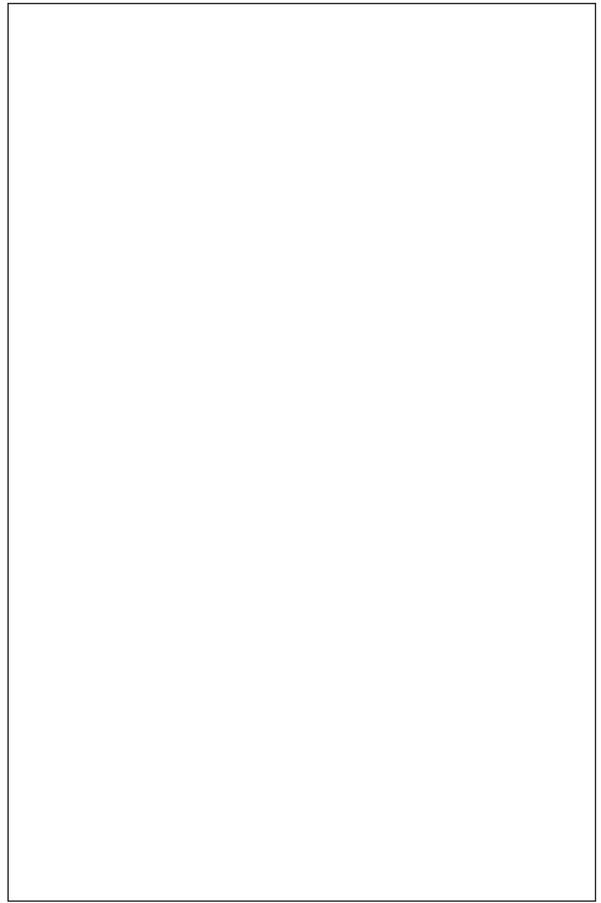
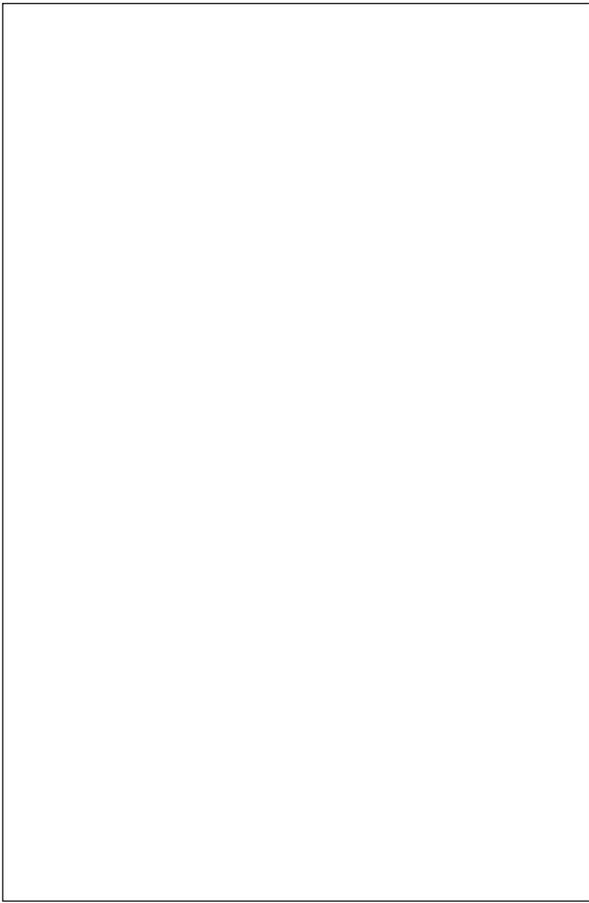
SEED 11 怒られるから…

SEED 12 知らんでえい!?

SEED 13 シュンとともに

SEED 14 JRに乗ってきました





話のタネ7

ぼくの絵日記

「絵日記で考える外国人の人権問題」
(高知県 (財)高知県人権啓発センター) より引用

Point ポイント

「外国人はこうだ」「この地域の人はどうだ」とひとくくりに見てしまうことはありませんか。地球上にはたくさんの国があり、いろいろな民族が暮らしています。また、日本でもたくさんの地域があり、それぞれの生活様式で暮らしています。その一人一人は別々の「人」であり、それぞれの考えをもっています。「外国人」とひとくくりにするのではなく、私たち日本人も含めて、その「人」自身を理解し、ちがいを認め合い、ともに生きていくことが大切なのではないでしょうか。

〈話し合いの視点①〉



- ★気になった曜日について話し合ってみましょう。
- ★「火曜日の日記」の『父』、『姉』、『母』の見方・考え方について、ワークシートをつかって話し合ってみましょう。
- ★「金曜日の日記」で、『ぼく』が「いやだなあ」と思ったのはどうしてでしょうか。

〈話し合いの視点②〉



- ★話し合いをとおして気づいたことや心に残ったことなどを、グループで発表し、お互いに共有しましょう。

固定観念と偏見と差別について

固定観念：「子どもはみんなわがまま」「女性は優しく弱いもの」など、極端に単純化されたステレオタイプによって形成される。ただし、「日本人は勤勉」「田舎の人はみんなやさしい」など、肯定的な例もある。

偏見：「茶髪の人には不良に違いない」など、偏った否定的な決めつけ。差別意識の原因となる。

差別：「部落の人はこわいからつきあうな」「黒人は怠け者だから雇わない」など偏見が行動（言動）となって表れたもの。

「じんけんスキルブック」（兵庫県人権・同和教育研究協議会）

◎ワークシート

(1) 「父」、「姉」、「母」のこたえについて、あなたの考えやエピソードなどをグループで出し合ってみましょう。

「ほく」が『外国人ってなあに』と聞くと、次のようなこたえがかえってきました。

	こたえ（見方・考え方）	あなたの考えやエピソード
父	『日本人じゃない人だよ』	
姉	『背は高いし、かっこよくて、女の子にやさしい人のことよ!』	
母	『ひとくちに外国人といっても、たくさんいるのよ。 アジアやヨーロッパ、アフリカの人。ヒフの色も違うし、言葉も違う、ご飯の食べ方も違うわよ』	

(2) 日本人どうしても、これに似たようなことはありませんか？

■高知県民ってどんな人？ → 「お酒が強い人だよ」など

■障害者ってどんな人？ →

■学校の先生ってどんな人？ →

⋮

知らなかったちや！

韓国の忠州（チュンジュ）で生まれ育った金（キム）さんは、3年前に高知に来ました。金さんが、友人の家に行った時の出来事です。



Point ポイント

日々の暮らしのなかで、つい「自分中心」に考えてしまうことはありませんか。世界には、さまざまな文化があり生活があります。それぞれに理由があり、意味があるのですが、それを「自分のものさし」で判断して、時には上下をつけて見てしまいがちです。

この話のタネやクイズをきっかけに、多様性を認め合うことの大切さについて話し合ってみましょう。



〈話し合いの視点①〉

- ★食器を持たずに食事をするのは、韓国だけなのでしょうか。
- ★文化の多様性を認めるために、どんなことが大切なのでしょうか。

「そうだったの!?クイズ」をやってみましょう。そして、気づいたことなどを出し合ひましょう



〈話し合いの視点②〉

- ★「思いこみや決めつけ」をキーワードに自分のエピソードを思い出し、話し合ってみましょう。

コリアと日本の食器のルーツ

「米が主食」「箸を使う」など日本と似ている部分が多いコリアの食文化。コリアでは食器を手を持たずに匙（さじ）と箸で食べるのが一般的ですが、昔は日本でも匙を使って食事をしていました。その後、日本は木製、コリアは鉄や陶磁器の食器がそれぞれ発達していきました。

日本の場合、木製の食器は軽いので持ちやすく、手にフィットするように改良され、口の近くまで運べるため、自然と匙という文化が消えていきました。コリアの場合、持つには重い素材である鉄や陶磁器が発達したため、持ちやすさよりもいかに安定しているかが大事にされました。そのためコリアの食器は底が広くてひっくり返らないようになっています。



そうだったの!?クイズ

1 「ドラえもん」は世界各国で放送されています。さて、世界各国で「ドラえもん」は何と呼ばれているのでしょうか?まちがいを1つ選びましょう。

- イ Dou-ray-mon (マレーシア) □ Doremon (ベトナム)
ハ 青熊猫 (中国) ニ EL Gato Cosmico (スペイン)

2 韓国ではマナー違反になることを1つ選びましょう。

- イ 他人の携帯電話に無断で出る。 □ 大皿の料理を逆さ箸でとる。
ハ チヂミを食べるとき、近くの人と同じタレにつけながら食べる。
ニ 座って食べるとき、膝を立てる。

3 日本と同じように十二支がある国を1つ選びましょう。

- イ ガーナ □ コロンビア ハ ベトナム ニ イスラエル

4 世界では、子どもの歯が抜けたときに丈夫な歯が育つようにと、いろいろなことをします。次のうち、まちがいを1つ選びましょう。

- イ モンゴルでは、若い犬に食べさせる。
□ メキシコでは、枕の下に敷いて寝る。
ハ ベトナムでは、上の歯も下の歯も抜けたときには屋根に向かって投げる。
ニ フランスでは、すべての歯が抜けるまで、大事に保管する。

5 世界の国でもっとも歌われている曲は?

6 世界では、しゃっくりが出たときに止める方法としていろいろなことが行われています。次のうち、まちがいを1つ選びましょう。

- イ 韓国では、驚かす・水を一気に飲む・出来るだけ息を止める。
□ ブルガリアでは、おへそにセロテープを貼る。
ハ メキシコでは、赤ちゃんだったら眉間に赤いものを貼る。
ニ ハンガリーでは、片手を挙げながら水を飲む。

7 次の写真は、どこの県の雑煮でしょう。線で結びましょう。

京都府

・
・



しょうゆ・焼角餅
塩ザケを入れ、
イクラをトッピングすることも

香川県

・
・



白味噌 煮丸餅
少し甘めの関西風
最後にカツオ節をのせます

新潟県

・
・



しょうゆ・煮角餅
西日本ではめずらしい角餅
具は大根・にんじん・タイモなど

高知県

・
・



白味噌 あん丸餅
具は家庭によってさまざま
あん餅を入れ、青海苔をふる

そうだったの!?クイズ

解答と解説

- 1 **ハ** 中国では「机器猫 (The robot cat)」と言います。
スペインの他、コロンビア、ボリビアなどスペイン語圏では「EL Gato Cosmic Cat」と言います。
私たちが子どものころに見たアニメやドラマを同じように外国の人々が見ていて、「ドラえもんはおもしろいね」と言われたら、文化や習慣を超えて相手のことを身近に感じられるのかもしれませんがね。
- 2 **□** ニはマナー違反ではありませんが、自宅では膝を立てることはあっても、他人の家や公の場では膝を立てて食事をすることはありません。
- 3 **ハ** ヴェトナムの十二支は中国や日本と順番は同じですが、異なる動物が3ついます。
「うさぎ」⇒〈ねこ〉 「いのしし」⇒〈豚〉 「牛」⇒〈水牛〉
- 4 **ニ** フランスでは、メキシコと同じように枕の下に入れておきます。ちなみにモンゴルでは、守り神である犬が食べると、丈夫な歯が育つと言われています。
さて日本ではどうでしょうか。あなたのところではどうでしょうか。
- 5 **Happy Birthday to You (ハッピーバースデー ツーユー)**
誕生日に歌を歌う習慣があるところでは、歌詞はその国の言語になっていても、このメロディーで歌い誕生日を祝います。
- 6 **□** ブルガリアでは、下を向きながらコップの水を飲みます。(すする)
メキシコでは「赤い糸、赤いテープ、赤いボタンとか」などを貼るそうです。韓国と日本はとてもよく似ていますね。日本ではそのほか、「鶉の鳥を思い出す」「柿のへたを煎じて飲む」「箸を十文字に渡した茶碗の四隅から水を飲む」などがあるようです。みなさんは、どのような方法で対処してきましたか？

7

京都府	香川県	新潟県	高知県
			
しょうゆ・焼角餅 塩ザケを入れ、 イクラをトッピングすることも	白味噌 煮丸餅 少し甘めの関西風 最後にカツオ節をのせます	しょうゆ・煮角餅 西日本ではめずらしい角餅 具は大根・にんじん・タイムなど	白味噌 あん丸餅 具は家庭によってさまざま あん餅を入れ、青海苔をふる

二つの名前



英姫
みつこ

私の夫は在日コリアン二世です。私は25年ほど前、韓国から日本に来て夫と結婚し、現在は高知県のある町に住んでいます。

数年前、名古屋に住んでいる義理の妹の娘（在日三世）が結婚しました。相手は日本人男性でした。

その時のできごとです。

結婚式を間近に控えたある日、その妹から電話がかかってきました。

妹：「お姉さん、悪いけど結婚式には着物で出席してくれないかな。」

私：「日本の着物着てみたかったからいいよ。」

次の日、また妹から電話がありました。

妹：「お姉さん、申し訳ないんだけど、名字の^{かねもと}金本の『^{かね}金』を『^{かね}鉄』に変えてもらえないかなあ。」

私：「いいよ。…そんなに相手に気を使うなら、私はかまわないから、そういうふうにしていいよ。」

これで終わりかと思ったんですが、また次の日に電話がかかってきました。

妹：「お姉さん、ごめん。昨日の話なんだけど、名前も変えてもらいたいの。名前も本名の英姫（ヨンヒ）だと、その名前を見たら、誰もがすぐに『日本人じゃない』とわかるでしょう。だから、お母さんの名前の『みつこ』に変えて結婚式に出席してほしいの。」

私：「どうしてそこまでしなくちゃならないの？それだったら、私は式には出席しません！」

妹：「……。」

結局、私は結婚式には出席しませんでした。

数日後、妹が理由を話してくれました。それは、私が想像していたとおりでした。

妹：「結婚相手の親御さんは理解をしてくれているけど、親戚がなかなか理解をしてくれない。娘が在日コリアンだということが周りに知れると、その後、娘がいじめられるのが怖い。在日を隠すのが娘のためだと思って、お姉さんにつらいことを言ってしまったの。ごめんね。」

私は、悔しくてたまりませんでした。

Point ポイント

「自分に名前が二つある」ということを考えたことがありますか？本名が言えない（隠す）ために別の名前を名乗らざるを得ないとしたら、あなたはどのように感じますでしょうか？どうして名前を隠す必要があるのでしょうか。それは、そこに「生きにくさ」（差別の現実）があるからです。韓流ブームなどの陰に隠れている在日コリアンの問題について、みんなで話し合ってみましょう。そして、自分の生き方をもう一度問い直してみしましょう。新しい関係を築いていくために。

〈話し合いの視点①〉



- ★話のタネを読んで、気になったところはどこですか？
- ★もしあなたが「私」だったとしたら、名前を変えますか？それはどうしてですか？
- ★何が「悔しくてたまらなかった」のでしょうか。

〈話し合いの視点②〉



- ★「ともに生きていく」をキーワードに自分のエピソードを思い出し、話し合ってみましょう。

資料「我が友パク・チョンホ」を読みあつて、まとめてもいいでしょう。

◎歴史的経緯をひもとこう（中学歴史教科書より）

【韓国併合】 日露戦争に勝利した日本は、武力を背景に韓国を保護国とし、統監府を置いて韓国の外交権をうばいました。やがて韓国の内政の実権をにぎり、軍隊も解散させました。1910年には、韓国を日本の植民地としました（韓国併合）。日本は朝鮮に総督府を置き、朝鮮を支配しました。

【日本統治下の朝鮮】 日本は、朝鮮人を日本に同化させようとして、朝鮮人の学校で日本語を「国語」として強制し、日本の歴史・地理を教え、民族の自覚や誇りをうばおうとしました。また、土地の調査を行い、そのなかで、多くの朝鮮人から土地をうばいました。このため、生活に困った多くの人々が中国東北部や日本に移住しましたが、賃金や社会生活のうえで、さまざまな差別を受けました。こうしたなかで、朝鮮人をけいべつし、差別するまちがった考えが、日本人のなかにしだいに広まりました。植民地支配のなかで、日本は、36年間にわたって朝鮮民族にいつくせない苦しみをあたえました。

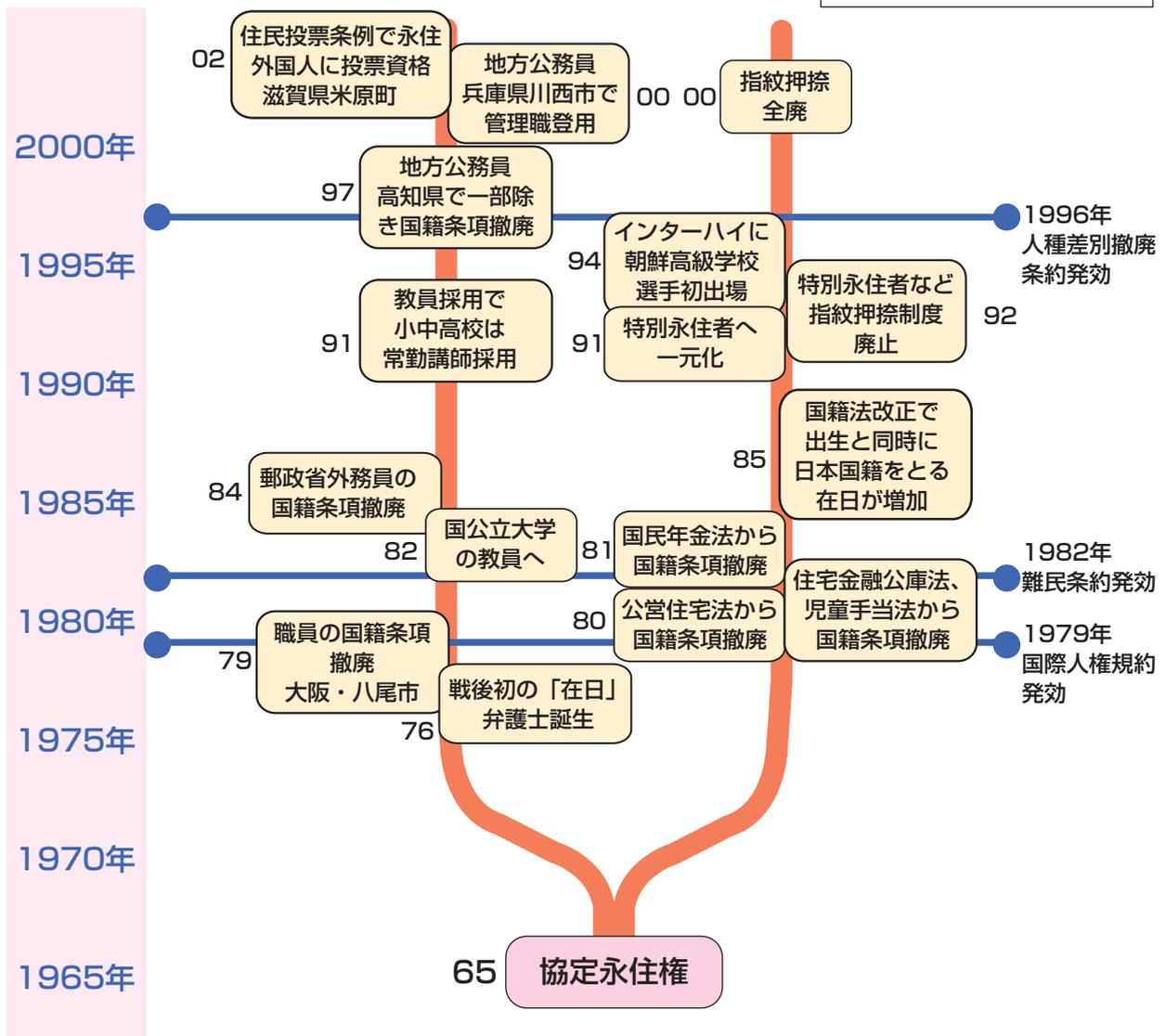
〈関東大震災でのできごと〉 1923年9月1日、相模湾を震源とする大地震が関東地方をおそいました。混乱のなかで「朝鮮人が暴動を起こした」などさまざまなデマが広がり、住民でつくられた自警団や警察・軍隊などにより、数千人の朝鮮人が殺されるという事件が起こりました。

【皇民化政策】 政府は、朝鮮人に対しては、日本人に同化させる皇民化政策をいっそう強め、日本式の姓名を名のらせ（創氏改名）、神社への参拝を強制しました。この同化政策は、台湾でも同じように進められました。

〈朝鮮人や中国人の強制労働について〉 日中戦争が始まると、労働力の不足になやんだ日本は、朝鮮人や中国人を強制的に国内の炭鉱・鉱山・工場などに送りこみました。全国の強制労働の現場では、日本人による暴行事件も多く起こりました。こうした暴行や、事故・栄養失調などによって、強制連行された多くの朝鮮人や中国人が死亡したといわれています。

◎在日外国人の権利

※選挙権、被選挙権はない。



■外国人の地方公務員採用をめぐる各国の状況■

○：広く認めている △：限定的にしか認めていない（九州産業大・近藤敦教授による）

国名	状況	特記事項
ニュージーランド	○	ほとんどの国家公務員も
スウェーデン	○	かなりの国家公務員も
オランダ	○	かなりの国家公務員も。地方公務員の場合は市長以外
イギリス	○	旧植民地出身者は国家公務員も
カナダ	○	—
オーストラリア	○	—
アメリカ	△	州レベルでは「政治的機能」の職には認めず。連邦政府もほとんど認めず。ただし制限は行政命令（省令）による
ドイツ	△	EU市民には上級公務員も認める。国家公務員も同様
フランス	△	国家公務員を含め上級公務員以外をEU市民に認める
日本	△	門戸を開いた自治体も管理職への昇進制限あり。国家公務員のほとんどは認めず

毎日新聞 2005年1月27日 東京朝刊

◎我が友パク・チョンホ

大崎博澄（高知県教育長）

ぼくは縁起をかつがないタイプの人間だが、近頃、財布のなかに透明のビニール袋に入った一枚の紙片を大切にしている。お金を出し入れする時にちらっと見る。仕事に疲れた時にふと思い出して取り出して見ることもある。いまではぼくのお守りになっている。

天然わかめ90グラム100円、真あじ開き2枚入り1パック180円などと書かれた折込チラシを小さく切って、その裏に鉛筆で花の絵が描いてある。その絵は、ぼくが高知新聞に書かせていただいている「山畑だより」に、いつも山沖裕美さんが寄せてくれているイラストを、幼い手で懸命に描き写したものである。紙片の隅の方に、大崎博澄様へ、そしてハングルの署名にパク・チョンホ、とカナがふってある。

今年の夏、中土佐町のPTA研修会にお伺いした時、パクくんからお菓子と一緒にいただいたものである。在日コリアン四世、日本の小学校に通っているパクくんが、自分の名前をハングルでしっかりと書いていることにちょっと胸が熱くなる。

先日、パクくんのお母さんからお手紙をいただいた。

〈午後からは久礼中学校三年生との交流授業で、人権・差別について話し合う予定です。在日コリアン（三世）として、どうどうと生きていくのに厳しい世の中になっていますが…私は回りのあたたかい人たちに恵まれているのが救いになっていると思います。

過去の歴史を知れば知る程、その時代に生きた人たちの思いを想像すればする程、辛く、せつなく、やりきれない気持ちになります。

その時代に生きた人たち、そしてその生き方からしっかり学んで、何か自分の生き方につなげていかないといけない……とまっているところです。〉

お手紙が心にかかりながら、ぼくはずっとお返事が書けないでいる。パクくんやパクくんのお母さんの祖国に対して、私たちの国には忘れてはならない「過去」がある。また、いまこの国には、在日コリアンの人々が、コリアンとして堂々と生きていくのに厳しい「現在」がある。この「過去」と「現在」が、軽々しく詫びることに、軽々しく励ますことに、何かそれだけではたりないものがあるよ、とぼくの心を揺する。

すさまじい貧しさのなかで生い立ったぼくは、一貫してマイノリティ、社会的少数派として生きなければならない人々の側に立つことを、自分の生き方のバックボーンとしてきた。けれども、心弱いぼくは、正直に告白すれば、しばしば現実の前にもろくも挫折し、たやすく妥協して生き延びてきたのではないかという苦い自省がある。その自省がぼくの心を揺する。

お返事に代えて、ぼくの書いた古い詩をひとつ、この紙面を借りて送ろうと思う。



チョウウセンアヤメ
ぼくの故郷ではそう呼んだこの花は
草たけがおとなの指の長さほどで
薄紫の小さな花をつける
明るい野原に小さく群れて咲くが
どれほど咲きほこっても
人目をひくということはない
どこにでもあるが
だれにも知られない
それほど淡く小さな花だ
強制連行され、過酷な生と死を
強いられた人々の祖国の名を
この小さな花がどうして
冠するのか知らないが
無念の思いを抱きつつ異郷に
果てた人々を永く記憶するために
未知さん、この小さな花の名を
覚えてください

我が友パク・チョンホ、君は凍土を渡って吹いて来る早春の風、ぼくたちの苦い記憶をたしかな希望に変える力は、君のなかに息づいている。在日コリアンとして、堂々と胸を張って生きてください。

〈「人権教育」第182号（社）高知県人権教育研究協議会〉

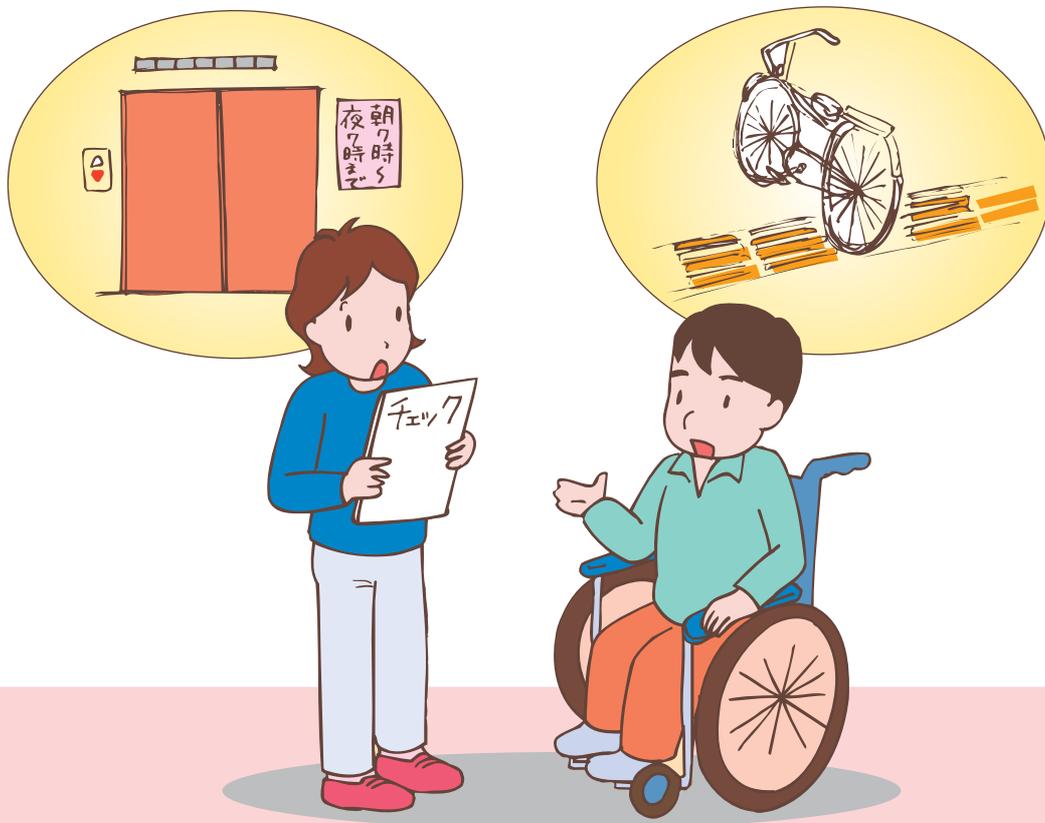
まちのバリアフリーチェックから

《 1 》

車いすで生活する中田さんと一緒に町内のバリアフリー調査をすることになりました。町の段差や歩道に放置された自転車など確かに不便を感じるそうです。

しかし、この調査で驚いたことは、駅のエレベーターの運転時間。

「このエレベーターは、朝7時から夜7時まで運転しています」とはり紙がありました。



◎車いすで生活する中田さんから



いろいろバリアを見てきたけど、実際、1番困るのはガムの吐き捨てたものや唾。健康者の靴のように脱いで家に入るわけではないので、それが車いすにつくと、そのまま家に入るのもいややし、車輪をふくのも大変やしね。



《2》

①バス停の予約制車いすバス時刻表

拡大



②高知県庁（西庁舎）前の歩道



③県立春野運動公園内の階段



④電動車いす一人旅「富士山」



⑤車いすバスケットボール



★バリアフリー

ももとは障害のある人が生活していくうえで妨げとなる段差など物理的な障壁（バリア）をなくす意味です。現在では物理的な障壁に限らず、制度や心理的な障壁を含め、あらゆる障壁を取りのぞく意味で用いられます。

- 物理的な「バリア」：道路、建物、交通機関等の階段やトイレなどの施設、設備に関わるバリア
- 制度的な「バリア」：各種の資格制度や就職・任用試験などで障害があることが欠格事由になっているバリア
- 文化情報面の「バリア」：視覚・聴覚障害者の情報面でのバリア
- 意識上の「バリア」：障害のある人に対する偏見など人々の心のなかにあるバリア

★ユニバーサルデザイン

はじめからバリアをつくらず、障害の有無や年齢などにかかわらず誰にとっても利用しやすいような配慮のもとに「まちづくり」「ものづくり」を考案・設計しようとする考え方。

Point ポイント

まちのバリアフリー化は徐々に進んできていますが、障害のある人が地域で自立し自分らしく暮らすためには、さまざまな制約がまだまだあります。私たち自身がつくり出しているバリアもあるのではないのでしょうか。バリアは、私たちの行動でなくすることもできます。人にやさしいまちづくりは、ハード面の整備以上にソフト面も大事です。

この話のタネや資料をもとに、障害のある人の視点に立って、私たちの社会を振り返り、バリアについて考えてみましょう。

タネは、《1》と《2》を別々に配って、気になったところや感じたことを話し合ってみましょう。そして「話し合いの視点」を参考に話を深めていきましょう。

〈話し合いの視点①〉



- ★エレベーターの運転時間のはり紙や、①～③の写真から、誰のための設備なのか、本当に使いやすいのか考えてみましょう。
- ★私たちのまちは障害のある人が自由に出かけることができるでしょうか。自由に出かけることを阻害しているものは何でしょうか。
- ★写真④や⑤から、「遊び」や「楽しみ」について話し合ってみましょう。

〈話し合いの視点②〉



- ★「誰もが暮らしやすいまち」にするためにどうしたらいいか、自分の経験やエピソードをもとに話し合ってみましょう。

49ページの「パターンリズム」や「障害者の自立生活」も参考になります。

写真の説明

①バス停の予約制車いすバス時刻表

予約制車いす乗車バスの案内です。車いすは1台のみ乗車可能ですので、完全予約制となっています。この案内を見て、障害者の社会進出を考えるきっかけにしてください。

②高知県庁（西庁舎）前の歩道

高知県庁（西庁舎）前の歩道の点字ブロックは、消火栓のところで不自然に曲がっています。“誰のために点字ブロックを設置したのか” “使いやすいものになっているのか” を考えることで、本当の意味でのバリアフリーを考えてみましょう。

③県立春野運動公園内の階段

同じ色や同じような模様の階段は、上から見るとどこから始まるかがわからないことがあります。2002年よさこいピック高知が開かれたときは、右の写真のように体育館の階段の始まりと終わりに緑色のガムテープが貼られました。



④電動車いす一人旅「富士山」

身体に障害があり、電動車いすを活用している竹崎さんは富士山に一人で行きたいと思い立ち、JRを利用して、人との出会いを楽しみながら富士山に行って来ました。富士5合目では、何の飾りもない夏富士と周りの山脈、眼下に見おろす雲海と雄大な大自然を満喫してきたそうです。河口湖ではボートに乗ったり、ロープウェイに乗ったりもしたそうです。（48ページに竹崎さんについての紹介が載っています。）

⑤車いすバスケットボール（2002年よさこいピック高知での高知クラブ）

車いすバスケットボールをまじかに見ると、すばやい身のこなしやタイヤの焦げるにおいなどその激しさがわかります。また、高知クラブの選手はいつも生き生きと楽しそうに、そして真剣にプレイしています。監督の言葉にも印象的なものがあります。「失った機能を探すな。残された機能を生かせ。」この言葉は、前向きに生きているすべての人に当てはまるのではないのでしょうか。

「太平洋はバリアフリー」

夜須町教育委員会 名 倉 海 子

よさこいピック高知の時にボランティアとして関わった時のエピソード。

大会も無事終わり、親しくなった選手の人たちと「みんなで街へ飲みに行こう！」ということになり、お店を探し始めました。私自身が友達と行く場合だったら、「おいしくて、安いお店」とか「新しくできた」などの理由でお店を選びますが、その時は「トイレが車いすでも入れるか?」「お店に入るのに階段かエレベーターか?」などをお店に問い合せ、さまざまな障害のある仲間みんなが大丈夫なお店を探しました。いざ夜の街にみんなと一緒に出て、歩き出すと、歩道に自転車が置いてあったり、さまざまな障害物があることに気づきました。一緒に行った人たちは、普段からスポーツをしてよく外出もしているせいか、障害物をじょうずによけながら文句も言わずに歩いて行きます。だんだん私の方が腹が立ってきて、「もう、なんでこんなに人のことを考えずに置くかな。」とブツブツ言い出しました。

よさこいピックに関わって、普段の生活で不便を感じない為に、気づいていなかったことがたくさんあることを発見しました。日本は障害者の人たちにとっては住みにくい国なのかもしれない、と感じて少し寂しくなりました。

私は普段はヨットを競技としてやっています。夜須町には障害者の方も楽しめるユニバーサルデザインのヨット「アクセスディンギー」が3艇あり、夏には障害者を対象としたヨット教室も行っています。アクセスディンギーの面白いところは、障害者だけでなく、健常者も一緒に乗って楽しめるというところ。実を言うと、オーストラリアで行われた全豪選手権に日本選手団の応援で行ったつもりが、選手でレースに参加してしまったことがあります。アクセスディンギーの大会は健常者、障害者、誰でも参加できるのです。水の上でヨットを走らせる選手たちは、自由自在に好きなのところに行けて本当に気持ちよさそうです。段差もなければ、行く手をさえぎる障害物もない。帆に風を受けて「スーッ」と走る感覚、波を切って行く水音は本当に気持ちよくて、体にしみこんでいきます。いろんなことから開放されていく感じ。水の上に出れば、本当のバリアフリーの世界が広がっているような、そんな気がします。広い太平洋に囲まれた高知県、一番広くて身近なバリアフリーの世界を一度味わってみませんか？



プラザ通信玉手箱Vol.51 (ふくし交流プラザ) より

怒られるから…



障害のある娘をバギー（折りたたみ式の乳母車）に乗せて、近くのスーパーに買い物に行った時のことです。数人の子どもたちが、娘を見て、「へんな子がおるー！」と、はやしたてました。

私は腹立たしい思いで、その子どもたちをにらみつけました。すると、その子どもたちの母親らしい女性が「そんなこと言いよったら、おばちゃんに怒られるで！」と言って、そそくさと向こうへ連れて行きました。

Point ポイント

障害のある人に出会った時、変に意識してしまうことはありませんか。
子どもは、おとなの言動から無意識にももの見方・考え方をみにつけていくものです。
話のタネをとおして、偏見がうまれるわけやおとなの役割について話し合ってみましょう。

〈話し合いの視点①〉



- ★「へんな子がおるー！」とはやしたてた子どもたちについて考えてみましょう。
- ★あなたが「母親らしい女性」だったらどうしますか。
- ★あなたが障害のある子どもの母親だったらどうしますか。

〈話し合いの視点②〉



- ★「面倒だな」を読んで、おとなの役割について考えてみましょう。

国際生活機能分類（ICF）の障害のとらえ方

同じ障害であっても障害のある人を取り巻く環境によって社会的に受ける不利益は違ってきます。ノーマライゼーションの概念が広がるなか、障害を個人の問題としてだけではなく、社会の問題としてもとらえようとする考え方へと変化してきました。その考え方が、2001年、世界保健機構（WHO）で採択された国際生活機能分類（ICF）の障害のとらえ方です。

例えば、小指を切断した場合、職業がピアノの奏者であるのかないのかによって、その人が受ける社会的な不利益の度合いが変わってきます。また、車いすで生活する人も、その人を取り巻く生活環境がバリアフリーの社会になっているかどうかで、その人が受ける社会的な不利益の度合いも変わってきます。

つまり、個人の障害とその人を取り巻く環境とが相互に作用し合うことで、障害をとらえようとする考え方です。また、この考え方では、障害の概念は、疾患だけではなく妊娠、高齢、ストレスなどによって変わる健康状態も考慮に入れています。



面倒だな

竹崎文恵

「おばちゃん、どうしたか？どうしてそんな歩き方するが？」

「おばちゃんねえ、病気がよ」

「何言うた？分からん。どうして、はっきり言わんが？どうして変な顔するが？」

今まで何百回この会話を繰り返してきたことだろう。4月、5月に一番多く交わされるこの会話。小学生になりたての好奇心旺盛な子ども達。子ども達には当然の疑問。この疑問に正確に答えるのが私達大人の役目と、頭ではしっかり分かっている。自分以外の事に興味と関心を示す子ども達は素晴らしい成長をするに違いないのだから…。

でも、毎日幾度となく、この会話を繰り返しているといい加減うんざりしてくる。「言葉が伝わらないから誰か通訳してよ」と言いたくなり、周りを見まわすのだが、そんな時に限って誰もいない。それにどんな言葉を使って説明すれば、小学1年生が分かってくれるのか。こんなことなら、通信教育でも教育課程を学習しておくべきだったと思うのだが。後悔先に立たず。

学校で、入学してくる子ども達に説明してほしい。子どもは雑念がないし、頭も柔らかいから、すんなり理解してくれる。そうすれば、私が一人ひとりに一々説明しなくて済むのにな。

こんな風に思いつつ、今日もまた、

「おばちゃん、どうしてそんな歩き方するが？」

「おばちゃんねえ、病気がよ」

「何言うた？分からん。病気がよ？」

「そうそう」

「フーン、じゃあね。バイバイ」

「バイバイ、気付けて帰りよ」

「そうそう」だけは、伝わったみたいだ。これであの子の何人かの友達には言ってくれるだろう。面倒だけど、かわいい子ども達だ。



竹崎文恵さん
タバコ屋の前で

竹崎さんは、10歳の4月で肢体不自由児施設に入所し、2年間をかけて一人歩きができるようになりました。高校は県外の養護学校に入学し、卒業後は自宅から数十メートルのところにタバコ屋を開きました。今年でタバコ屋歴33年になります。

竹崎さんは言います。

「障害を乗り越えるなんてできない。できるのは障害と共にどう生きるかだ。」

2004年の夏には、竹崎さんは愛用の電動車いすで一人富士山に行きました。街にお酒を飲みにも出かけます。何にでも興味を示す竹崎さんですが、特に人に会うことが面白いそうです。今一番行ってみたいところは、福祉の進んだデンマークだそうです。

パターナリズム

社会的に弱い立場にいる人（とりわけ障害のある人や子ども）を自分で決める力のある一人前の人間として見ずに、保護すべき存在として扱う考え方をパターナリズムといいます。その人にとって何が一番いいのかを他の人が決めてしまうことがその典型です。このパターナリズムは、無意識のうちに障害者や子どもは無力な人という見方を固定したり、尊厳を傷つけたりすることもあります。社会的に弱い立場にある人ほど、意思や気持ちを軽視されたり、自分で決めることが奪われやすい状態にあります。子どもに対する親、妻に対する夫、体の弱った高齢者に対する家族などは、無意識のうちに強い立場にたって、相手に決める力があること、それを尊重することを忘れてしまいがちです。

（「動詞からひろがる人権学習」大阪府教育委員会発行をもとに作成）

障害者の自立生活

障害者の「自立生活」という言葉を聞いて、どのような生活を想像しますか？

ここでいう「自立生活」とは、障害者が親元や施設をはなれ、必要な介助を受けながら「自分の生活したいところで生活する」ことをさします。自分の暮らし方を自分で決定し、責任は自らがとるという意味をもっています。つまり、経済的職業的自立や身辺自立を重視する自立観とはその考え方が大きく違います。現在、日本でこの考え方に基づいて運営される全国自立生活センターへの加盟団体は130を超えています。

私は旅人

何もわからずに、

自分だけの思いをぶつけていた子ども時代

他の人と自分の違いに気づき、

劣等感に苛まれながらも人を愛し、愛され
生きる喜びを知った二十代

何かを捜し求めて、

がむしゃらに動いた三十代

二十代からの疑問

「私は何のために生まれ、生きているのか」
この問いを自分自身に投げかけつつも、

平凡に過ごせた四十代

「人生は自分探しの旅」

ようやく気づいた五十代の今

昨日の私、さようなら

今日の私、こんにちは

明日はどんな私に出会えるのだろう

今日の私よりも、明日の私

少しでもステキに輝いていれば

嬉しいな

“面倒だな”と“私は旅人”は竹崎さんが50歳の自分への贈り物として作ったエッセイ集「私は旅人」から引用しました。この本は幼い日の記憶から現在まで、竹崎さんの日常生活をつづっています。

「私は旅人」著者 竹崎文恵

企画・製作 まあるい心 ちゃれんじどの応援団

知らんでえい!?

《1》 待合室で

ある総合病院の待合室でのことです。

母親と一緒に来ていた小学生くらいの男の子が、本を読みながら順番を待っていました。

少し退屈したのか、同じフロアにある診療科目のプレートの字を読み始めました。

「り・う・ま・ち・か（リウマチ科）、な・い・か（内科）、…。」

「精神科」が読めなかったようで、男の子は母親にたずねました。

「お母さん、あそこにあるのは何科って読むが？」

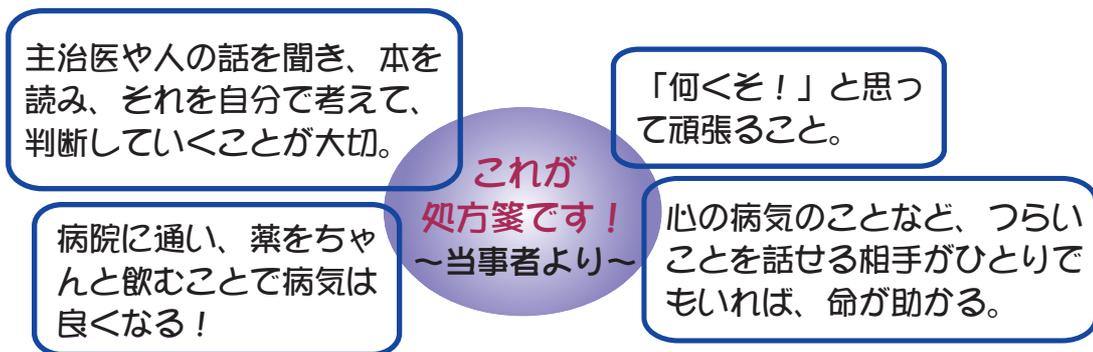
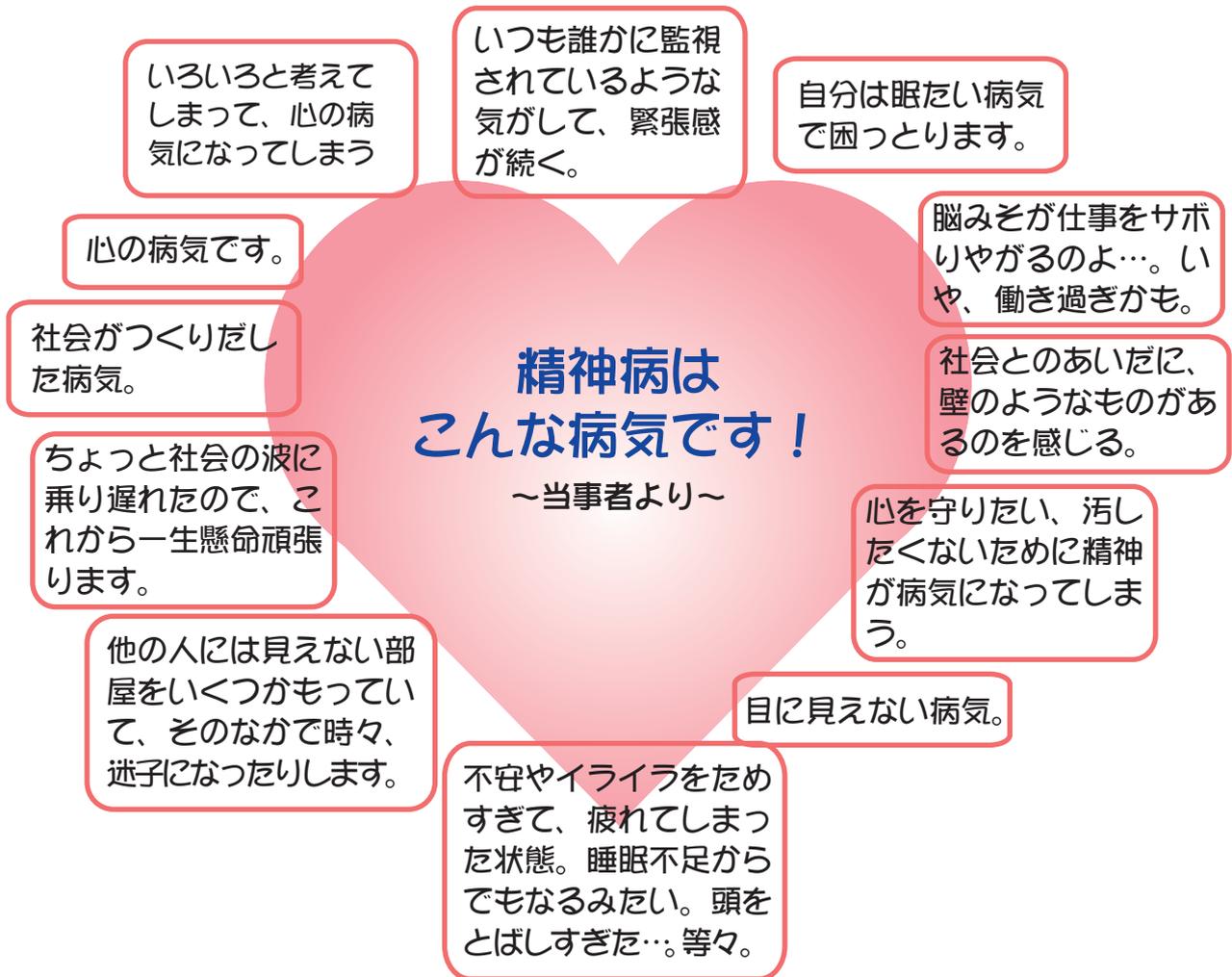
それを聞いた母親は、とてもあわてたようすで、ひとさし指を口に当てて言いました。

「しっ、知らんでえい！！」

子どもはびっくりしたようすで、それ以上聞くこともせず、何もなかったように本を読み始めました。



《2》 私たちが説明します



精神障害者が語る
こうちトンネルねっとわーく
『もぐら塚』3号より

あるソーシャルワーカーのお話

- ★特別な病気ではないですよ。自分自身はもちろん、家族、親戚、近所、職場、…いろいろな場面で関係がある病気です。精神病院（精神科なども含む）を身近に感じてほしいです。心配があったらすぐに相談すればいいのではないのでしょうか。思春期外来などもありますからね。
- ★まちに住んでいる人が心をつにすることはなかなか難しいことだけれど、いろいろな病気の人も含めて、ともに生活していくことが本来のまちの姿ではないのでしょうか。

Point ポイント

ストレスによって心が傷つくという体験は誰もがもっています。心の病気（心身症、うつ病、精神病、過食・拒食症、アルコール依存症、PTSD、…）も決してめずらしいものではありません。傷ついた心を癒す専門機関として精神科や精神病院などがありますが、私たちは、それらの専門機関や心の病気（特に精神障害など）をマイナスのイメージで見えてしまうことが多いのではないのでしょうか。話のタネや資料をもとに話し合うことをとおして、心の病気について理解を深めるとともに、地域のなかや自分自身のなかにある偏見などについて考えてみましょう。

〈話し合いの視点①〉

- ★（《1》待合室で）あなたが「母親」だったら子どもの質問にどうこたえますか。
- ★（《2》私たちが説明します）ストレスなどで自分自身の心が不安定になったことはありませんか。そのとき、あなたはどのように解決しましたか。
- ★（《2》私たちが説明します）「当事者のこえ」は、あなたが精神障害（者）に対して思っていたことと同じでしたか。

資料などを使って補足説明をすると理解が深まります。

〈話し合いの視点②〉

- ★「知る」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、話し合ってみましょう。

◎わたしの子育て日記

1月12日（木）曇り

2:00	授乳
4:00	授乳
6:00	授乳 軟便
10:00	授乳
14:00	授乳
16:00	授乳+ミルク100 下痢
17:00	授乳 ぐずつく37.7℃ 下痢 (通院)
19:00	湯冷まし+ミルク20 投薬 ぐずつく 嘔吐
20:00	嘔吐 ぐずつく38.0℃ 下痢

今日も具合が悪い様子。いつもの笑顔もなく、ぐずつくことが多い。下痢と嘔吐のため、タオルケットや毛布を何枚も代える。ベビードレスの着替えがなくなり、バスタオルにくるんで寝かせる。こちらが、うとうと眠り始めると泣き始めるのでつらい。今日で3日満足に寝ていない。

短いうたた寝のなかで自分が交通事故に遭う夢を見る。自分が救急車で運ばれるなかで「家に病気の赤ちゃんがいる」ことを救急隊員に伝えようとするが言葉にならない。私にもし何かあればこの子は誰にも気づかれず死んでしまうのかもしれないと思う。泣いていなくても泣き声が聞こえるのは私がおかしくなっているのかもしれない。

※育児に対する不安やストレスなどによって、「夢をみる」、「幻聴が聞こえる」という体験をした親の日記です。育児に限らず、似たような体験をしたことがあるのではないのでしょうか。

◎心の病気・豆知識

- 1 心の病気は年々（ ）し、時代の変化につれて病気の種類や症状も少しずつ変わってきています。
① 増加 ② 減少
- 2 何か大きな災害や事件に遭遇すると、その強いストレスがこころの障害を残し、後に症状として表れてくる可能性があります。それをPTSDと言います。（ ）のことです。
①心的外傷ストレス症候群 ②注意欠陥多動性障害 ③アルツハイマー症候群
- 3 精神分裂病という病名は、現在は（ ）と変更されています。
- 4 心の病気の発生の割合は、次のようになっています。
(1) 神経症や軽いうつ病、アルコール依存症などの中毒性の精神障害を含めると100人に（ ）人近くいることとなります。このように、心の病気は割合よくある病気です。
① 1 ② 2 ③ 5
(2) 精神障害（精神病）と言われる人は少なくても人口の（ ）%ほどです。
① 1 ② 0.5 ③ 0.3
- 5 統合失調症の原因は、（ ）と言われています。
① 遺伝 ② 親の育て方 ③まだはっきりしていない
- 6 「犯罪白書（平成14年版）」によると、精神障害者またはその疑いのある犯罪者率は、それ以外の犯罪者の（ ）となっています。
① 3倍 ② 2倍 ③ $\frac{1}{3}$
- 7 殺人・放火のいずれも、精神障害者の再犯率は一般犯罪者の（ ）程度になっています。
① 2倍 ② $\frac{1}{2}$ ③ $\frac{1}{4}$

<こたえ>

- 1 ①
- 2 ① 「阪神淡路大震災」や「大阪教育大学附属池田小学校事件」の後、PTSDとなった子どもたちのことが報告されました。児童虐待などによりPTSDとなる子どもたちもいます。
- 3 統合失調症
精神あるいは人格が「分裂」してしまう印象を与え、患者は話の通じない、いつ何をするか分からない危険な人という偏見や差別を生み出してきました。偏見の背景には、「精神分裂病」は一端発病すると病気は次第に進行し、ついには人格の荒廃に至るという古い精神医学がもっていた病後の経過に対する悲観的な考えがありました。しかし、現在は疾病理解が進み、治療方法の研究が進歩して、病後の経過もよく、社会生活が可能なまでに回復しうる疾患であることが知られています。
- 4 (1) ② (2) ③
よくある他の病気では、リウマチ0.5%、胃潰瘍2～5%、肝硬変0.2%などです。
- 5 ③
原因はまだ明らかになっていませんが、ある程度わかっていることはあります。
●親の育て方や環境だけで病気になるものではありません。
●遺伝病ではありません。 ●一つの原因によって発病するものではありません。
- 6 ③ 「精神障害者だから」というステレオタイプな見方は、精神障害者を苦しめる結果となります。テレビなどの報道に対しても、確かな知識・情報をもとに判断したいものです。
- 7 ③ これについて、1999.11.18付の産経新聞は「精神障害者の再犯率は一般犯罪者を下回っており、精神障害者の再犯を危険視する議論は、統計的に根拠を失っている」と紹介しています。

シュンとともに

シュンが私のもとに生まれてきてくれたことで、たくさんの人と出会い、人が生きることの意味を考えることができました。自分も含めて人の冷たさと弱さを知りました。それでも人の優しさと強さにふれて、私はここまでがんばってこれました。

「シュンはシュン！」

私のことを選んで生まれてきてくれたことを感謝しよう！そう思えたとき、シュンのすべてを受け止めることができたと思います。たくさんの人に大切なことを教えてもらい、シュンにいろんなことを気づかせてもらい、そうやって私はシュンの本当のお母さんになっていったと思います。段階をのぼるように、シュンに対してというか、障害児・者に対する今の思いが固まってきたように思います。

シュンが生まれてすぐ、心臓に病気があること、ダウン症候群という障害があり、成長やいろんなことができるようになることがゆっくりだと説明を受けました。話を聞きながらずっと涙が止まらなかったことを覚えています。

最初は、シュンを拒絶しました。自分が不幸だと泣いていました。ショックから母乳は1週間で止まってしまいました。夜になると、シュンにつらい命を与えてしまったこと、健康な身体で生んであげられなかったと…自分を責めてシュンの顔を見ては泣いてばかりいました。

次に、健常児にしようと思いました。そうすることがシュンにとっての幸せなんだと思ったのです。早期療育が大切だと本で見たら、月に2度、0歳のシュンを連れて電車を乗り継ぎ、訓練に通いました。今思えば、訓練に通うことは自己満足でしかなかったのです。できることを全部しなければ、周囲から親として失格だという目で見られるのではないかと思いこんでいました。シュンにとっての幸せを冷静に考えることはできなかったのです。

地元の保育所は、3歳にならないと障害児を受け入れてくれないので、しばらく土佐希望の家の障害児通園施設に親子で通いました。



最初、シュンより重度の子どもたちの姿を直視できない自分がいました。その子たちに手を伸ばし、抱いてあげることができたとき、私自身ひとつ成長できたと思います。そこは障害児と障害児の親だけの空間。同じ痛みをもつ人のなかでいることの居心地のよさを感じていました。そして、シュンとのかかわりのなかで湧き出てくるシュンをいとおしく思う気持ちは、同時に私にいろんなことを考えさせてくれました。たくさんの人とかかわらせることが、親として一番にすべきことなんだと気づかせてくれたのです。その居心地のよい空間から出て、地元の保育所に入所することに決めました。

決めたものの、障害児であるシュンを健常児のなかに入れること、障害児の親である私が健常児の親のなかに入ることに、夜も眠れないほどの不安を感じたのです。地元の保育所に通うだけのことなのに、私はとても怖かったのです。

いざ保育所に入所したら心配することはありませんでした。子どもたちのなかでは、障害児・健常児の区別はなく、自然にかかわっていました。本当に自然に…。

そして、一緒にいるからこそそのシュンの成長は、私の想像以上にたくさんありました。

私自身は、まず障害児とその親のなかで過ごすことによって一歩、そこをでてまた一歩、前に進むことができました。保育所での3年間は、私たち親子にとっては本当に意味のある3年間でした。何歩も前進できたと思います。シュンにとっても私にとっても、支えてくれる人がたくさんできた、ということが一番何よりのことです。

そんななか、シュンの就学が私にはかなり心配でした。そしてまわりの保護者に自分の思いを伝えることにしました。シュンにとって、分けられることなく、同じ世界・同じ時間のなかでかかわってくれる友だちが何よりも大切だと思う気持ちと、私自身にも理解してくれる仲間が必要だということも伝えました。

シュンにはできないことがいろいろあります。でも、できなくてもいい。他の子と比べることなく、シュンのペースでできることを増やしていけばいい。何より大切なのは、みんなと一緒にいること。私はそう思っています。



Point ポイント

今、高知県では、ノーマライゼーション^{*1}の理念のもと、誰もが地域で安心して暮らせる共生社会をめざして取り組みが進められています。

この話のタネは、ダウン症のシュンくんの母であるケイコさんが、シュンくんが生まれてきてからこれまでの思いをつづったものです。シュンくんが生まれてたくさんの人と出会い、人が生きることの意味を考えてきたケイコさん。ケイコさんはシュンくんの就学先として地元の小学校の通常の学級を選びました。そこにはみんなと一緒にいることで成長していくシュンくんの姿がありました。

ケイコさんの思いやシュンくんの姿から、「ともに育つ」ことについて、そして障害のある人もない人も、ともに地域で安心して暮らせる社会について話し合ってみましょう。

〈話し合いの視点①〉

★話のタネを読んで、気になったところはどこですか。

★ケイコさんの気持ちについて考えてみましょう。

- ・「最初は、わが子を拒絶しました。自分が不幸だと泣いていました」
- ・「シュンの就学が私にはかなり心配でした」
- ・「私のことを選んで生まれてきてくれたことを感謝しよう」など



〈話し合いの視点②〉

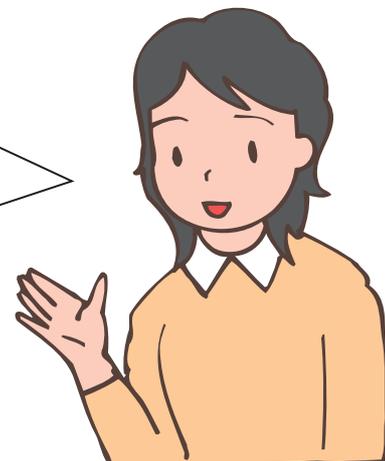
★「ともに育つ」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、グループで話し合ってみましょう。

SEED 14「JRに乗ってきました」の話のタネや資料などにも、障害のある子どもや親の思いが語られています。
また、59ページ「気になるカタカナ～問われているのは社会の『感性』～」も、参考になります。

ケイコさんから

いっぱい問題が出てくるのは、当たり前なのです。その問題を学校、教師、保護者、子どもたちがちゃんと受け止めてくれるかどうかです。受け止めて考えることが大切なのです。

子どもの障害が、本人と家族にとってはとっくに“障害”でなくなっても、社会という“障害”とたたかい続けなくてはならない現状を、少しでもわかってほしいと思います。100%その人の立場を理解することは難しいとは思いますが、周囲の無理解が一番の“障害”なんだということもわかってほしいのです。



ノーマライゼーション^{*1}

障害のある人が、地域社会のなかで、障害のない人と同じように社会の一員として生活を営み、行動できることが本来の社会の在り方であるという考え方。

障害のある児童生徒の教育について

○障害者基本法の改正（平成16年6月） 第14条

第14条の「教育」の規定に、「国及び地方公共団体は、障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない」を追加。

○「特殊教育」（高知県では「障害児教育」）から「特別支援教育」へ

これまでの「特殊教育」

障害の種類や程度に応じて盲・聾・養護学校や特殊学級、通級による指導という特別な場で指導を行うことにより、手厚くきめ細かい教育を行うことに重点。

これからは「特別支援教育」

これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、LD^{*2}、ADHD^{*3}、高機能自閉症^{*4}等を含めて障害のある児童生徒等の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。

特別支援教育を推進するうえでの学校の在り方

①盲・聾・養護学校から特別支援学校へ

障害種にとらわれない学校設置を制度上可能にするとともに、地域における障害のある子どもの教育のセンター的な役割を果たす学校としての盲・聾・養護学校を特別支援学校（仮称）の制度に改めることについて、法律改正を含めた具体的な検討が必要。

②小・中学校における特殊学級から学校としての全体的・総合的な対応へ

障害のある子どもについて「個別的教育支援計画」を策定すること、すべての学校に特別支援教育コーディネーターをおくことの必要性とともに、特殊学級や通級による指導の制度を、通常の学級に在籍したうえでの必要な時間のみ「特別支援教室（仮称）」の場で特別の指導を受けることを可能とする制度に一本化するための具体的な検討が必要。

〈文部科学省「今後の特別支援教育のあり方について（最終報告）」H15.3より〉

◆平成16年から、この提言を受けて特別支援教育を推進するための制度の在り方に関する審議が行われています。

学習障害（LD^{*2}：Learning Disabilities）

基本的には全般的な知的発達に遅れはないものの、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態をさすものです。学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されますが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではありません。

注意欠陥／多動性障害（ADHD^{*3}：Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder）

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものです。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

高機能自閉症^{*4}

3歳くらいまでに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいいます。また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定されています。

JRに乗ってきました

きのう、私はJRに乗って、高知大に行きました。校舎改築のため、妹は9月一杯、高知大学に通います。妹は初めてJRを使って通うので、とても私は心配です。心配なので、夏休み中に一緒にJRに乗り、大学へ行ってみることにしました。私は、JRに乗るのは2回目くらいです。



私が行くと言ったので、JRにお父さんが電話をしてくれて、職員さんを頼んでくれました。車で、近くの入明駅まで行きました。スロープがあって、車いすに乗っている私でも楽にホームに行けました。ホームは一つだけで、シーンとしてちっちゃい駅でした。



列車が来ました。職員さんがスロープを出して、やっと乗れました。列車が動いたとき、ガッタンガッタンと、自分の体まで揺れてしまいました。列車は各駅停車で、いろんな景色が見れて良かったです。「次は〇〇です」という合図がありました。どこかな、どこかな〜と、私は期待満々で外を見ていました。



「運転中は話しかけないでください」とアナウンスで言っていたので、運転士さんには話しかけませんでした。

朝倉駅に着きました。「あー、やっと着いた」と思いました。

外へスロープで出て、「あつ〜!」と思いました。

あんまりの暑さに、バテそうでした。

横断歩道を渡って、大学の前の歩道にズラズラーッと、自転車がとまっています。自転車をお父さんが何台か寄せてくれて、ようやく車いすが通れました。みなさ〜ん、くれぐれも道路に自転車を停めるときはちゃんと整理して停めてください。どこもかしこにも置かないでー。



自転車通学の学生さん、お願いします。

残念ながら大学のなかは見れませんでした。ここが高知大学なんだな〜と思いました。帰りは朝倉駅から高知駅まで、JRに乗って帰ってきました。

車いすで列車に乗るのは景色が見れて良かったし、職員さんもスロープを出してくれたり、案内してくれて良かったです。JRのみなさん、ありがとうございました。

URL <http://WWW.h-mirai.com/>

すずかの気ままにDO!
~車いすから見た18歳のホンネ

すずかさんは現在18歳。脳性まひのため、手足が不自由です。“すずかの気ままにDO!”は、彼女が体験したことや感じたことを、お母さんがホームページにアップしたものです。

Point ポイント

「JRに乗ってきました」は、車いすで生活している18歳の少女の本音が語られています。彼女の日常生活から社会のバリアについて考えてみましょう。

また、障害のある人が生活していくにはさまざまな不合理が社会には存在します。すべての人が安心して暮らせるために、私たち(自分)ができることを考えてみましょう。

〈話し合いの視点①〉



★車いすでJRに乗ると言って、お父さんが電話をしています。どうしてでしょうか。

★大学前の歩道に自転車がとまっていて、車いすが通れませんでした。日常生活でこれに似たようなことはありませんか。

〈話し合いの視点②〉



★「保育所での生活」と「とっておきのお話」を読んで、障害のある子どもをもつ親の気持ちについて考えてみましょう。

SEED13の「シュンとともに」も親の気持ちが語られています。

気になるカタカナ ～問われているのは社会の「感性」～

障害者の人権について話し合っているとき、気になるカタカナが出てきました。そのカタカナは「インテグレーション」と「インクルージョン」です。

言葉の意味は次のとおりです。

●インテグレーション (integration—統合教育)

障害のある子どもを特殊教育制度に固定するのではなく、障害のない子どもと一緒に学ぶ場所を設定する。

●インクルージョン (inclusion—包み込み・包括)

障害のあるなしの観点ではなく、一人一人のニーズに対応し、すべての子どもを包み込む教育。

インテグレーションとインクルージョンは障害のある子どもと障害のない子どもが一緒に学ぶという点では同じですが、考え方が根本的に違います。インテグレーションは、障害のある子どもと障害のない子どもを分類することからスタートしますが、インクルージョンはそもそも障害のある子どもと障害のない子どもは分類できないというところからスタートします。この考え方はノーマライゼーションや特別支援教育の考え方と一致します。問われているのは、障害の程度ではなく、障害のある人を取り巻く社会の「感性」なのかもしれません。

保育所での生活

すすかさんのお母さんは、すすかさんが3歳になったら地元の公立の保育所に通わせたいと思っていました。しかし、役場では「障害のある子どもは前例がない」と断られてしまいます。それでもあきらめずに働きかけた結果、やっと年長組の一員になることができました。

保育所では、子どもたちがすすかさんを見て、「なんで歩けんが?」「どうして?」「いつ歩けるようになるが?」など、次々と質問を投げかけてきました。

お母さんは、「すすかを見て、子どもたちが疑問をもつのは当たり前。一度、すすかのことをきちんと説明しておいたほうがいい」と思い、紙芝居を作って子どもたちに説明することにしました。紙芝居で説明すると、子どもたちはすすかさんの障害のを受け止め、その後一切質問はでなくなりました。

保育所で子どもたちといっしょに学ぶことで、お母さんが思った以上に効果が出ました。まず、会話力が飛躍的に伸びました。4歳までに20ほどの単語を話していましたが、半年後には「ママ、行く」などの2語文が言えるようになり、1年経つと会話ができるようになりました。そして、期待をしていなかったおむつまでとれました。お母さんは、無理を言って保育所に入れてもらって本当によかったとしみじみ思ったそうです。

こうして保育所は、すすかさんにとってなくてはならないところになりましたが、一方で課題もありました。保育所では最後まで「お客さん」から抜け出せなかったそうです。

そして、小学校は地元の小学校ではなく、自宅通学ができる若草養護学校に通うことを選びました。

私の夢の手



左の写真は、すすかさんが作った「夢の手」です。

次の会話はこの作品を見てのすすかさんとお母さん、お父さんの会話です。

お母さんが「すすか、あれ指が6本やなかった?」と言いました。

私は「気がついた?」と答えました。

「失敗したが?」とお父さんに言われましたが、

「あれは失敗じゃなくて、私の夢の手なが」と説明しました。

「どういうこと?」

「指が6本あったら、何でもできるろう?」と強調しました。

「なるほどー!」と納得してくれたのはお母さんでした。

お父さんは、特に何も言ってくれませんでした。

みなさんはこの会話からどんな感想をもちますか?

とっておきのお話

筒井典子（すずかさんのお母さん）

私の長女は障害児です。

長女が生まれてから、「人間にとって、何が一番大切なことか」という、非常に根元的な問いを幾度となく考えるようになりました。

声も立てずに重度仮死で生まれてきて、半日もの間会えなくて、生きているのか死んでいるのか不明だったとき。

1歳前、医師に障害があることを告げられ、目の前が真っ白になった日。

3歳の頃、座位保持いすごと玄関から落ちて額を切り、血だらけになったとき。

7歳の頃、てんかんの発作が長時間続き、後遺症が残るかもしれないとおびえたとき。

なぜか衝撃的な局面が多いのは、究極の場面でないと、そういうことを考えられない私の愚かさなのでしょう。日頃はそれはあまりにも根元的な問題で、つい忙しい日常のなかで、その答えを見失いがちになってしまいます。

長女が小学校3年生の時のことです。学校から帰り、畳の上でリラックスして私と何気なく話をしている時に、ふいにこう言いました。

「ママ」

「なに？」

「…生まれてきて、良かった」

あまりに思いがけない言葉に、私は絶句してしまいました。

長女の言葉は淡々としていて、まるで今晚のおかずをリクエストしている時のようです。

子どもながら、決して平坦ではなかった彼女の今までの人生を、そんな一言で言い切ってくれたこと。そしてそのありがたさに、不意に涙がふくれあがってきて、こらえるのに必死でした。

「…こんなママで、良かった」穏やかに微笑む娘。

そんなこと言ってもらえるほど、立派な母親じゃないのに…。

素直じゃない私は照れてしまい、なんとか話を日常に戻そうとしました。

「…学校で、何かそんな話したの？」「ううん。自分で考えた」

さすがに素直じゃない私も、ついに降参してしまいました。

「ありがとう」私は思わず、照れを忘れて心からそう答えました。

「ママのところへ生まれてきてくれて、本当にありがとう」

なんて素晴らしい宝物を、私は神様からゆだねられたのだろう。

そして同時に、こう願わずにはいられませんでした。（どうかこの子がおとなになってからも、「生まれてきて、良かった」と笑顔で答えられますように…）と。

それからもう、9年。長女は18歳になりました。今のところ、毎日笑顔で過ごしている彼女は生きる喜びに溢れています。

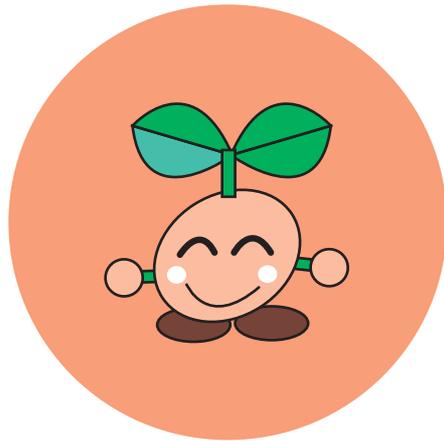
ただ、障害者の場合は、学校を卒業してからが正念場。これから色々とお悩ましいこともたくさん出てくるでしょう。しかし、親子共々、「負けないぞ!!」と改めて心に誓いました。



URL <http://www.h-mirai.com/>



ふりかえりシート



最後に「ふりかえりシート」に記入してもらい、研修について参加者の率直な意見や感想を教えてください。ここでは1つの例を示していますので、ねらいに応じて内容を工夫してみてください。

ふりかえりシート

(1) 今日の研修の満足度は？



(2) 「話のタネ」はどうでしたか。

1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
よくなかった あまりよくなかった よかった とてもよかった

(3) 今日の研修では、新しい発見や気づきがありましたか。

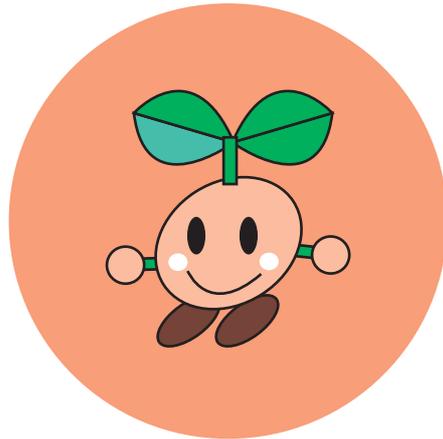
1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
まったくなかった あまりなかった まあまああった けっこうあった

(4) 今日の研修で、今後のあなたの生活や仕事に活かせることがありましたか。

1 ----- 2 ----- 3 ----- 4
まったくなかった あまりなかった まあまああった けっこうあった

(5) ひとことコーナー（感想やご意見があればお願いします）

みなさんの力をお貸しく下さい



この本をご活用いただき、「あなたの地域からのエピソード提供」（66ページ参照）、「担当者のみなさんのご意見」（67ページ参照）によって、たくさんの情報を高知県教育委員会事務局人権教育課までお寄せください。それをもとに、人権教育をすすめていくための学習教材を更に充実させていきたいと考えています。
みなさんの力をお貸しく下さい。よろしく申し上げます。

★お問い合わせ、送付先はこちらです！

住所：〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52

高知県教育委員会事務局人権教育課

電話：088-821-4931 FAX：088-821-4559

メールアドレス：310801@ken.pref.kochi.lg.jp

あなたの地域からのエピソード提供

あなたの地域では、この本の「話のタネ」からどのようなエピソードが語られましたか？
そのエピソードをぜひお知らせいただき、「高知ならではの話題集（仮称）」づくりにご参加ください。

研修会の名前	
開催日時	年 月 日 : ~ :
こんなエピソードが語られたよ！	
<p>※提供いただけるエピソードについては、発言者の了解をお取りください。 ※提供いただいたエピソードを無断で公にすることはありません。「話題集」の素材として活用させていただく場合は、再度本人に確認をとらせていただきます。</p>	

担当者のお名前		ご連絡先	
---------	--	------	--

担当者のみなさんのご意見

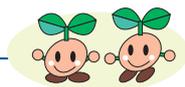
この本を使ってみていかがでしたか？感想などをぜひお寄せください。みなさんのご意見をもとに学習教材の中身を変えたり、ホームページや研修会などで紹介して、担当者のみなさんどうしの交流にも役立てていきたいと思えます。

学習会の名前		参加人数	
開催日時	年 月 日	: ~ :	
どの「話のタネ」を使いましたか	SEED()		
ここはもっと工夫した方がいいかも			
使ってみての感想（うまくいったところ、苦労したところ、悩み、要望など）			
担当者のお名前		ご連絡先	

【参考文献】

- 「ワークショップは技より心」 (財)人権教育啓発推進センター発行 2000年
「動詞からひろがる人権学習」 大阪府教育委員会事務局教育振興室地域教育振興課発行 平成14年
「『親』をまなぶ・『親』をつたえる」 大阪府教育委員会事務局教育振興室
地域教育振興課発行 平成16年
「多様性トレーニングガイド」 (社)部落解放・人権研究所発行 2000年
「絵日記で考える外国人の人権問題」 高知県 (財)高知県人権啓発センター発行 平成16年
「じんけんスキルブック」 兵庫県人権・同和教育研究協議会発行 2001年
「精神障害者の人権 一問一答」 (社)部落解放・人権研究所発行 2004年
「私は旅人」 まあるい心ちゃれんじどの応援団発行 平成15年
「平成16年版 障害者白書」 独立行政法人 国立印刷局発行 平成16年
「みんなでつくる人権学習～さいしょのタネをわたします～」
高知県教育委員会事務局人権教育課発行 平成16年
「今後の特別支援教育の在り方（最終報告）」
文部科学省 特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議 平成15年
「高知県障害者計画」 高知県健康福祉部障害福祉課発行 平成16年
「高知県の人権について」 高知県企画振興部人権課発行 平成16年
「人権に関する県民意識調査」 高知県企画振興部人権課発行 平成15年
「人権に関する児童生徒意識調査」 高知県教育委員会事務局人権教育課発行 平成15年

絵・写真提供 名倉 海子・竹崎 文恵・筒井 典子
イラスト・デザイン 川崎 敬子



人権学習研修マニュアル作成委員会委員

(平成17年3月現在)

金 英丸	高知大学非常勤講師
杉野 修	高知市弥右衛門都市整備課主任
関田 浩美	高知県小中学校PTA連合会副会長
筒井 典子	人・みらい研究所所長
道願 恭子	(財)高知県人権啓発センター私立学校人権教育推進指導員
間 章	(社)高知県社会福祉協議会民生・地域課主事
畠中 洋行	(株)若竹まちづくり研究所所長
藤川 昌文	西土佐村人権教育研究協議会副会長
松下 睦	県立城山高等学校教頭
三木 守	土佐山田町教育委員会地域教育指導主事
山崎 美希	高知女子大学社会福祉学科学学生

みんなでつくる

人権学習

～さいしょのタネをわたします～

Part 2

2005(平成17)年3月発行

編集・発行／高知県教育委員会事務局人権教育課

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52

TEL 088-821-4931 FAX 088-821-4559

E-mail 310801@ken.pref.kochi.lg.jp

URL <http://www.pref.kochi.jp/jinkyou/>

さいしょのタネをわたします

